

**3M** *Digital WallDisplay*  
*Display your intelligence.*

**Operator's Guide**  
**オペレータガイド**  
【日本語版】

*...for projection*

**8000PD**

*...interactive whiteboard*

**8200IW**

*...deluxe interactive whiteboard*

**8200IC**



**日本語版**

2004年4月発行

Copyright © 2003, 3M.

All Rights Reserved.



# 目次

<b>概要</b> .....	5
はじめに .....	5
使用環境 .....	5
危険防止のために .....	5
危険防止ラベル .....	7
商標 .....	8
<3M> Wall Display テクニカルサポート .....	8
FCCクラスA 準拠について .....	9
EECクラスA 準拠について .....	9
機種が表示、各機種の違い .....	10
梱包内容 .....	11
オプションアクセサリ .....	11
備考 .....	11
各部の名前 .....	12
<3M> Wall Display の主な特長 .....	13
<b>セットアップ</b> .....	14
周辺機器との接続 .....	14
<b>オペレーション</b> .....	15
スタートアップ .....	15
シャットダウン .....	16
<b>リモコンユニット</b> .....	17
主な特長 .....	17
電池の取り付けと交換 .....	20
<b>デジタルマーカーとイレーサー</b> .....	21
デジタルマーカーの組み立て .....	21
デジタルイレーサーの組み立て .....	22
<b>メニューシステム</b> .....	23
メニューの表示 .....	23
<b>&lt;3M&gt; Wall Display の3つのモード</b> .....	29
電子黒板モード (8200ICのみ) .....	29
ホワイトボードモード (8200IW/ICのみ) .....	29
投影モード (8200IW/ICのみ) .....	29
電子黒板モードで利用する .....	29
ホワイトボードモードで利用する .....	30
eBeam ソフトウェアのインストール .....	30
投影モードで利用する .....	32

---

<b>メンテナンス</b> .....	33
日常のお手入れ .....	33
ランプの交換時期 .....	33
ランプ関連のメッセージ .....	33
ランプの交換 .....	34
ランプ使用時間のリセット .....	37
投影スクリーンの交換 .....	38
<b>トラブルシューティング</b> .....	39
一般的な問題と対処方法 .....	39
オンスクリーンメッセージ .....	40
eBeam ソフトウェア .....	41
ハードウェアの検知と使用状況 .....	41
ネットワーク接続と共有ミーティング .....	42
データの書き込みと取得 .....	43
EFIミーティングアプレット .....	45
背景画像 .....	46
<b>サービス情報</b> .....	47
パーツとアクセサリ .....	47
オプションアクセサリ .....	47
お問い合わせとご注文 .....	47
<b>付録</b> .....	48
<3M> Wall Display 仕様 .....	48
入出力信号仕様 .....	49
コンピュータ互換性 .....	49
プリンタ互換性 .....	50

## 概要

---

### はじめに

このたびは、<3M> Wall Displayをご購入いただきまして、まことにありがとうございます。本機は、長期にわたり快適にご利用いただけるよう、3Mの厳密な品質・安全規格に従い製造された製品です。

本機を会議や教育、プレゼンテーションに存分にご活用いただくため、本書に記載の操作手順を遵守してください。

### 使用環境

<3M> Wall Displayをご利用になる前に、本書をよくお読みください。本機は3M製のランプと取付具、現地の標準電圧により屋内で使用することを前提に設計・製造・試験されております。

上記以外のランプや電圧を使用したり、本機を屋外で利用すると、本機および周辺機器の破損や思わぬ事故の原因となりますので、ご注意ください。

本機の使用環境は以下の通りです。

- 温度：16°C ~ 29°C
- 相対湿度：10% ~ 80%（結露しないこと）
- 海拔：0 m ~ 3048 m

本機の周囲に正常な作動の妨げとなるようなほこり、煙、油などの汚染物質がないことを確認してください。本機を不適切な環境で使用すると保証が無効になることがありますので、ご注意ください。

### 危険防止のために

<3M> Wall Displayを安全にご利用いただくため、本書の説明中で「」の記号がある箇所には特にご注意ください。



**危険** 人員の死傷を招く恐れがある潜在的な危険性を示します。



**警告** 人員の軽傷を招く恐れがある潜在的な危険性を示します。安全面で問題のある行為について注意をお願いすることもあります。

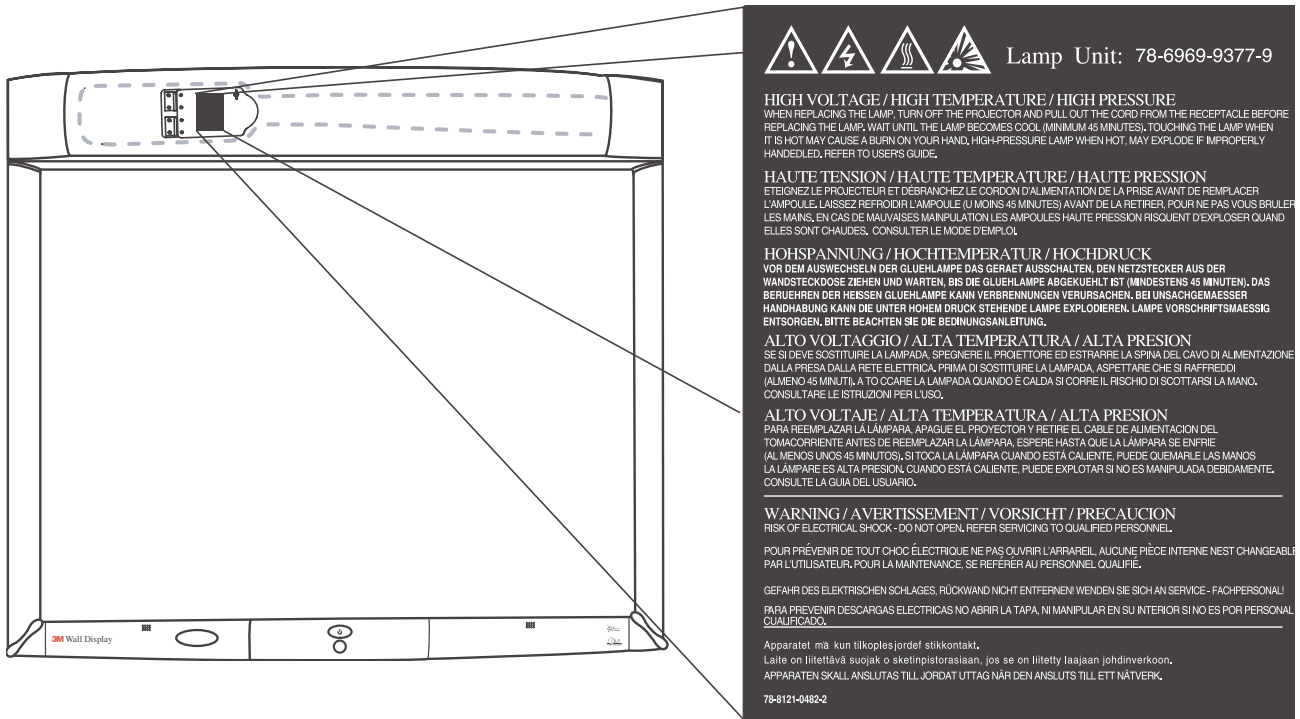
「注意」では重要事項や詳細情報をお知らせします。

- 本機の周囲にお子様がいる場合は、必ず大人の方が付き添ってください。本機を使用中に無人で放置しないでください。
- ランプの発光中に投影レンズを直にのぞき込まないでください。ショートアーク水銀灯は発光力が強く、視力低下の原因になることがあります。
- ランプ交換時に高温部分に触れると火傷をすることがありますので、ご注意ください。
- 本機または電源コードに損傷が見られる場合は、有資格の技師による点検を受けるまで本機を使用しないでください。
- 人がつかずいたり高温になる場所に電源コードを通さないでください。
- 延長コードが必要な場合は、電流定格が本機と同等以上のコードを使用してください。アンペア数が本機よりも低いコードはオーバーヒートすることがあります。
- 本機を点検・清掃するとき、あるいは本機を使用しないときには、電源コードをコンセントから抜いてください。コードはプラグ部分を持って抜いてください。
- 感電防止のため、本機に水などの液体をかけないでください。

- 感電防止のため、本機を分解することは避けてください。本機の点検・修理は有資格の技師にご依頼ください。本機の分解後に正しく組み立て直さないと、本機の使用中に感電を引き起こすことがあります。
- 本機はアースされたコンセントに接続してください。
- 換気用の開口部をふさがないでください。
- プロジェクタのランプには水銀が含まれます。ランプの処分は各地域の環境保護条例に従って行ってください。
- 本機の破損または人員の怪我を引き起こすことがありますので、投影アームに無理な力をかけないでください。
- 本機の作動中に投影アームを手動で開閉しないでください。
- 投影アームは電動式で、使用中は本体から約1 m飛び出した状態になります。頭や腕をぶつけないように注意してください。
- 本機を直射日光が当たる場所や、ヒーターなどの発熱体の付近に設置しないでください。

## 危険防止ラベル

<3M> Wall Displayの上部には下図の危険防止ラベルがついています。



**高電圧/高温/高気圧**  
ランプの交換は、プロジェクタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた状態で行なってください。ランプの熱が冷めるまで（45分以上）お待ちください。高温状態のランプに触れると、手を火傷することがあります。高温状態の高圧ランプは、適切に取り扱わないと破裂することがあります。オペレータガイドを参照してください。

**危険**  
感電に注意！開かないでください。点検は専門の技師にご依頼ください。

## 本書の保管

操作や保守の際にすぐに参照できるように、本書を<3M> Wall Displayの近くに保管してください。



### 警告

本機は100 ~ 240 V ± 10 Vで作動しますが、電力の低下あるいは± 10 Vのサージで作動不能になることがあります。電圧が不安定な地域では電圧安定器をご利用ください。

## 商標

3Mのロゴと3Mは、3M Companyの登録商標です。Vikuitiは3M Companyの商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Word、Excel、PowerPoint、Internet ExplorerおよびNetMeetingは、Microsoft Corporationの米国および他国における商標または登録商標です。

IBMは、International Business Machines Corporationの登録商標です。

Apple MacintoshとApple PowerBookは、Apple Computer, Inc.の米国および他国における登録商標です。

IntelとPentiumは、Intel Corporationまたはその子会社の米国および他国における登録商標です。

Digital Light Processingは、Texas Instrumentsの商標または登録商標です。

eBeam、e-Beam、eBeam Mouse、eBeam Moderator、eBeam Software、ImagePortおよびeBeam Presenterは、Electronics for Imaging, Inc.の登録商標です。

SunとJavaは、Sun Microsystems, Inc.の米国および他国における商標または登録商標です。

UNIXは、X/Open Company Limitedの米国および他国における商標または登録商標であり、特別に利用許可されているものです。

Palmは、Palm Computing, Inc.またはその子会社の商標です。

Netscape、Netscape Nおよび船の舵のロゴは、Netscape Communications Corporationの米国および他国における登録商標です。NavigatorとCommunicatorは、Netscape Communications Corporationの商標であり、米国以外で商標登録されていることがあります。

その他の商品は、当該各社の商標または登録商標です。

## 特許

3M Digital WallDisplayは、Utility Patent 6,179,426およびDesign Patent D442,205によって保護されています。

その他の特許も申請中です。

## ソフトウェアおよび著作権使用許諾契約

ここで配布されるソフトウェアは、Electronics for Imaging, Inc.が著作権を所有し、使用許可しているものです。

### <3M> Wall Display テクニカルサポート

- 住友スリーエム株式会社ビジュアル製品部：0120-615-110
- ウェブサイト：[http://www.mmm.co.jp/wall\\_display](http://www.mmm.co.jp/wall_display)

## FCCクラスA準拠について

本機はFCC規制15章に準拠しており、運転は以下の2条件を前提とします。

- (1) 本機が有害な電波干渉を起こさないこと。
- (2) 本機が電波干渉（望ましくない作用を起こすものを含む）を受けても耐えられること。

### お客様へのお願い

本機は、FCC（米連邦通信委員会）の定めるクラスAのデジタル機器に対する許容条件につき、所定の審査のうえ、FCC-15章の規制内容に適合するものとして認定されています。こうした規制の目的は、本機が商業地域で利用される際、有害な干渉を一定の範囲内で防止することにあります。本機は無線周波数エネルギーを発生・使用・発散するため、インストラクションマニュアルに従って設置・利用されませんと、無線通信にかなりの電波干渉を引き起こすことがあります。本機を住宅地でご利用になった結果、こうした障害が起きた場合は、お客様ご自身のご負担により、適切な処置を講じられますようお願い申し上げます。

### 備考

このクラスAデジタル機器は、カナダの「干渉発生機器規制」の全条件に適合しています。

## EECクラスA準拠について

本機はEMC（電磁両立性）に関する89/336/EEC（欧州経済共同体）試験を受けており、その条件に適合しています。



**危険**

**本機はクラスA製品です。国内では電波受信障害を引き起こす  
ことがあります。その場合は適切な処置をとってください。**

### ビデオ信号ケーブル

必ず二重被覆同軸ケーブル（FCCシールドケーブル）を使用し、外側のシールドをアースに接続してください。通常  
の同軸ケーブルを使用する場合は、干渉ノイズの放射を抑えるため金属パイプに通すなどの措置をとってください。

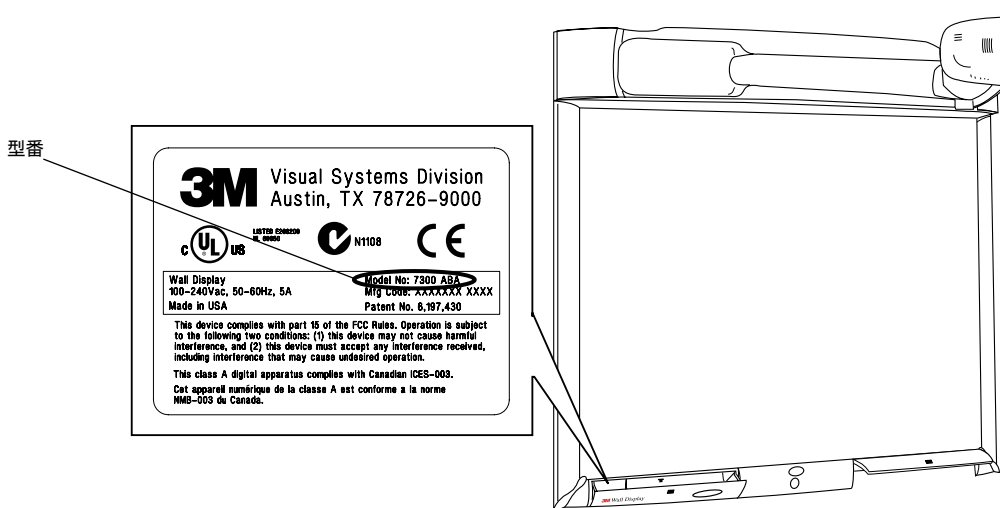
### ビデオ入力

入力信号振幅は仕様（付録参照）の範囲内とします。

## 機種ごとの表示、各機種の違い

### 機種ごとの表示

<3M> Wall Displayの機種は、ストレージカバーの内側にあるネームプレートに記載されています。ストレージカバーは押すと開きます。ネームプレートを下図に示します。型番と機種ごとの対応は下表の通りです。



型番	機種
8000PD	<3M> Digital Wall Display 8000PD ( プロジェクションタイプ )
8200IW	<3M> Digital Wall Display 8200IW ( インタラクティブホワイトボードタイプ )
8200IC	<3M> Digital Wall Display 8200IC ( オールインワンインタラクティブボードタイプ )

### 各機種ごとの違い

各機種ごとの違いを下表に示します。

型番	投影スクリーン	コピーボード*	インタラクティブホワイトボード**
8000PD	イーゼードライイレース + 投影	×	×
8200IW	イーゼードライイレース + 投影	×	
8200IC	スタンダード投影 + ドライイレース		

\*<3M> Wall Display 上に書き込んだ内容をプリンタへ出力することができます ( PCL3対応プリンタ使用。付録参照 )。

\*\*<3M> Wall Display 上に書き込んだ内容をコンピュータに取り込むこと、あるいは<3M> Wall Displayをコンピュータ用のインタラクティブモニタとして使用することができます。

## 梱包内容

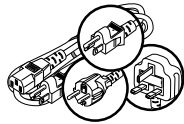
<3M> Wall Displayには、VCR、PC、Macintosh、ラップトップコンピュータとの接続に必要なケーブルなどが付属しています。本機の梱包を解いたら、以下のものがすべて揃っているか確認してください。梱包内容に欠損がある場合は、販売店までご連絡ください。



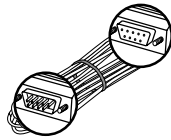
リモコン  
(電池付き)



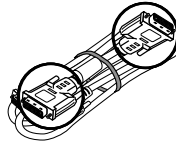
Mac用  
アダプタ



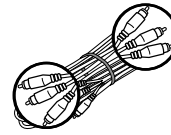
電源ケーブル  
(米国、ヨーロッパ各国用)



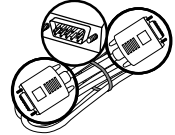
シリアル  
ケーブル



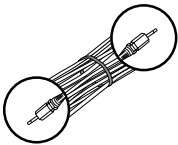
DVI-D  
ケーブル



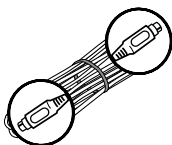
3線ビデオ/  
オーディオ  
ケーブル



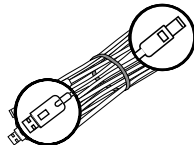
VGA  
ケーブル



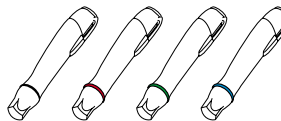
PCオーディオ  
ケーブル



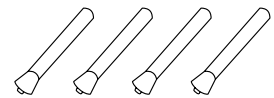
S-Video  
ケーブル



USBケーブル



ペンスリーブ  
4本  
(8200IW/IC)



ドライレース  
マーカー  
(8200IW/IC)

8200IW/IC



デジタル  
イレーサー  
(8200IW/IC)



オペレータ  
ガイド



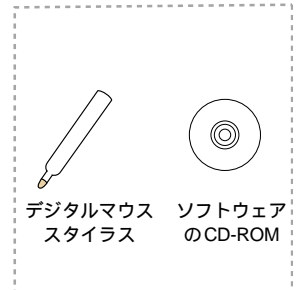
製品登録  
カード



リチウムイオン  
電池10個  
(8200IW/IC)



クリーニング  
クロス  
(8200IW/IC)



デジタルマウス  
スタイラス

ソフトウェア  
のCD-ROM

## オプションアクセサリ

- アクセサリトレイ/ラップトップシェルフ
- スペアランプキット
- 高輝度スクリーン
- ホワイトボードスクリーン

注意：本機を移動させる場合に備えて、搬送用の箱と梱包材は保管しておいてください。

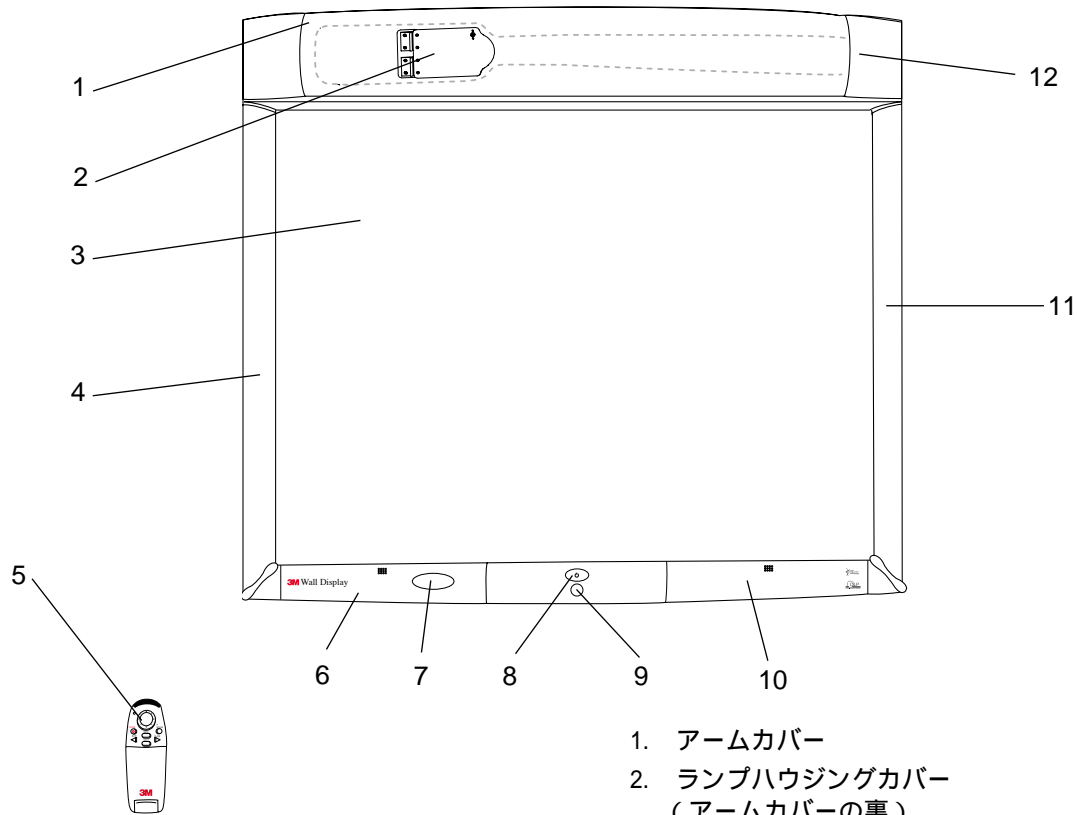
## 備考

<3M> Wall Display の設置が完了したらセットアップに入ります。

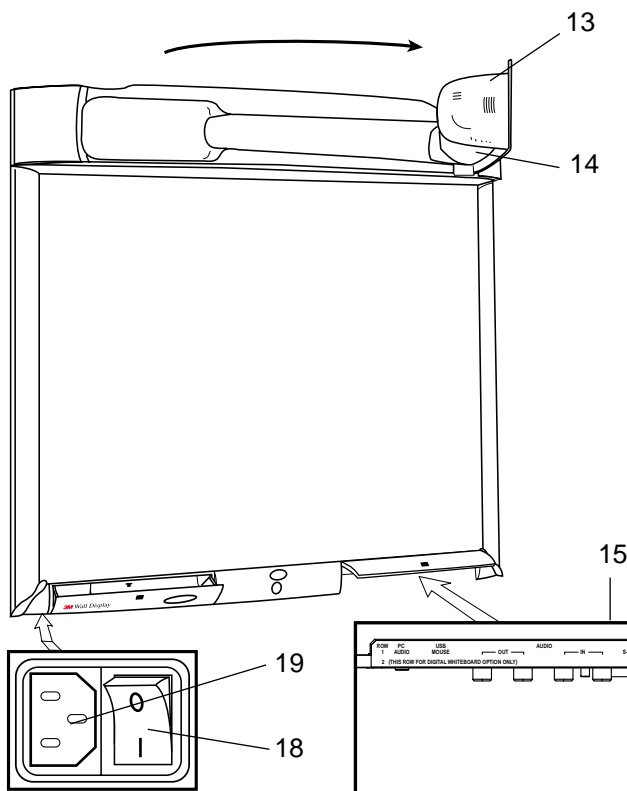
<3M> Wall Display を使用する前に、本書をよくお読みください。

弊社ウェブサイト [http://www.mmm.co.jp/wall\\_display/](http://www.mmm.co.jp/wall_display/) では最新情報をご案内しておりますので、こちらをご覧ください。

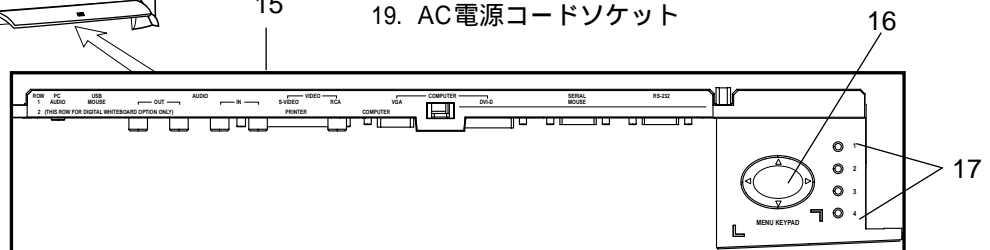
各部の名前



1. アームカバー
2. ランプハウジングカバー  
(アームカバーの裏)
3. 投影スクリーン
4. 左側ベゼル
5. リモコンユニット
6. ストレージカバー
7. ストレージカバーウィンドウ
8. ON/OFF ボタン
9. 赤外線センサー
10. 接続パネルカバー
11. 右側ベゼル
12. スピーカー



13. 投影ヘッド
14. 投影アーム
15. 接続パネル
16. メニューキーパッド
17. LEDインジケータ
18. 主電源スイッチ
19. AC電源コードソケット



### <3M> Wall Displayの主な特長

<3M> Wall Displayは、以下の機能性を満載した「オールインワン」のシステムです。

- 柔軟な接続性によりコンピュータ、ビデオ、DVDなどでのプレゼンテーションに対応
- 大型60インチスクリーン
- ビジネスアプリケーションやデータ表示に最適のスクリーン縦横比4対3
- フラットな画面で170度の広い視野角を実現
- スクリーン中心までの距離がわずか約1mのレンズで明るく歪みのない画像を提供
- プレゼンターが画像をさえぎらずに移動可能
- 強力なステレオスピーカーシステムを内蔵
- スイッチを押すだけでプロジェクタが起動
- 主な機能はハンディなリモコンから実行
- 8200ICと8200IWの特長
  - 会議内容をカラーで書き出して各種フォーマットで保存（JPEG、GIF、TIFF、HTML、PDF、ベクトルPDF、EPS、BMP、WBD）
  - <3M> Wall Displayをコンピュータ画面のような感覚で使用
  - 再生機能により、消去した項目も含め書き込み事項の再検討が可能
  - 会議内容をインターネットでリアルタイムに共有
- 8200ICの特長
  - 会議内容をPCL3プリンタへダイレクトに出力

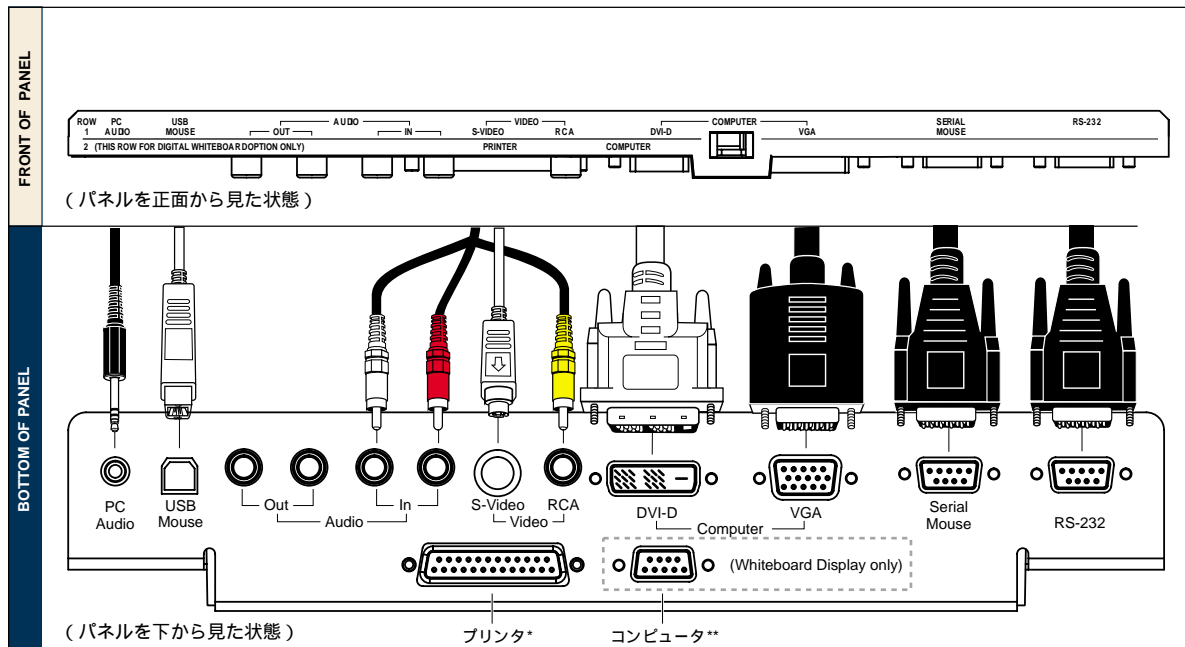
# セットアップ

## 周辺機器との接続

<3M> Wall Displayは、コンピュータ、VCR、DVDプレーヤー、テレビ会議ユニットなどの機器に簡単に接続することができます。

接続パネルは、本体右下の接続パネルカバー内にあります。接続パネルカバーは押すと開きます。

注意：画像と音声の品質低下を防ぐため、ケーブルは同梱のものを使用してください。他のケーブルを使用すると、画質の劣化や雑音の原因となることがあります。



- |              |  |
|--------------|--|
| PC Audio     | コンピュータのオーディオ出力ポートに接続。VGAおよびDVI-D ( Digital Visual Interface - Digital ) 入力用の音声を供給。 |
| USB Mouse    | コンピュータのUSBポートに接続。<3M> Wall Displayリモコンのディスクパッドでマウスをコントロール。                         |
| Audio Out    | 外付けオーディオアンプに接続。音源からの音声を供給。   |
| Audio In     | AV機器 ( VCRやDVDなど ) のオーディオ出力端子に接続。S-VideoおよびRCAビデオ入力用の音声を供給。                        |
| S-Video      | S-Video出力端子に接続。  |
| RCA Video    | コンポジットビデオ機器に接続。  |
| DVI-D        | DVI-Dインターフェイス対応のコンピュータに接続。   |
| VGA          | コンピュータのVGAまたはモニタ出力ポートに接続。  |
| Serial Mouse | コンピュータの9ピンシリアルポートに接続。<3M> Wall Displayリモコンのディスクパッドでマウスをコントロール。                     |
| RS-232       | コントロールデバイスのシリアルポートに接続。RS-232Cプロトコルとシリアルコマンドを使用して<3M> Wall Displayのコントロールを提供。       |

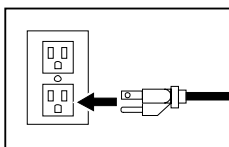
\* <3M> Wall Display 8200ICのみ対応。

\*\* <3M> Wall Display 8200ICおよび8200IW対応。

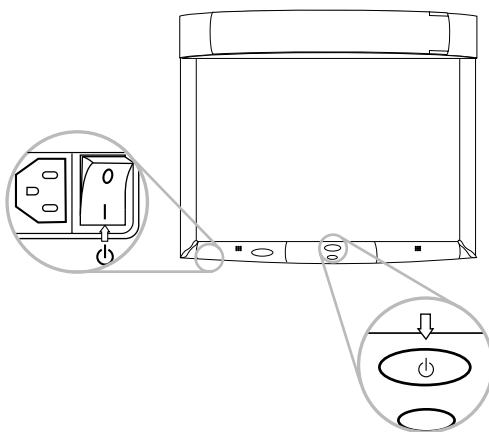
## オペレーション

### スタートアップ

1. 電源コードをコンセントに差し込みます。



2. 本体左下の主電源スイッチを「I」位置（ON）にします。通常、主電源スイッチはこのままにしておいてください。これで、<3M> Wall Displayはスタンバイモードになりました。数秒すると、中央下部の楕円形のON/OFFボタンがオレンジで点灯します。



3. ON/OFFボタンを押します。これで、投影アームが上部のハウジングから出てきます。投影アームの動きを邪魔しないように注意してください。
4. 投影アームが定位置まで出てくるとランプが自動的に発光し、60秒ほどで高輝度の状態になります。ON/OFFボタンは緑で点灯します。



#### 警告

- 投影アームは電動式です。本機の作動中にその動きを止めたり、無理に動かしたりしないでください。
- 投影レンズを直にのぞき込まないでください。レンズからの光で視力が低下することがあります。

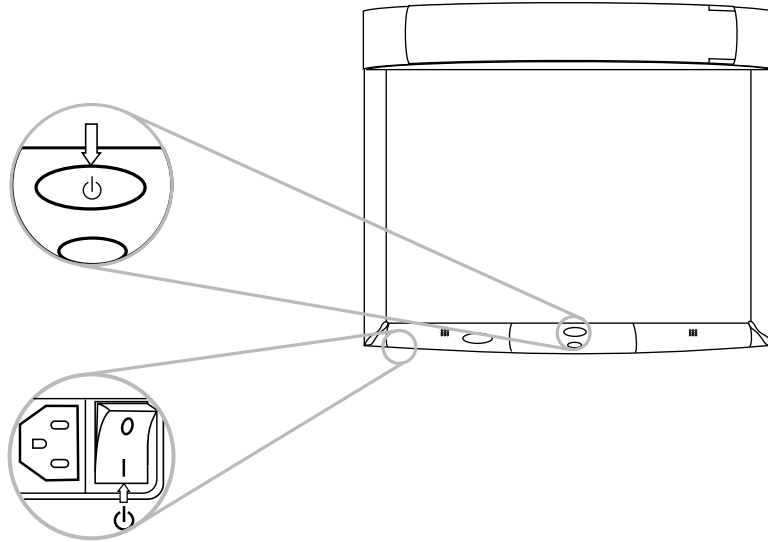
## シャットダウン

中央下部のON/OFFボタンを押します。

ランプが消灯して投影アームがハウジング内に戻ります。その間、ON/OFFボタンはオレンジで点滅します。

注意：ON/OFFボタンが作動可能な状態に戻るまで30秒のリセット間隔があります。この間は、ON/OFFボタンが赤で点滅します。

ファンは本機からの放熱のため5分間作動し続けます。



注意：本機を特に移動しない場合は、主電源スイッチをONのままにしておいてください。主電源スイッチをOFFにしたり、電源コードを抜く場合は、ON/OFFボタンを押してからにしてください。ON/OFFボタンを押した後も、ファンは放熱のため5分間作動し続けます。

## リモコンユニット

### 主な特長

リモコンユニットからの信号を受ける赤外線センサーは、本機のON/OFFボタンの下にあります。センサーとリモコンの間隔は4m以内にしてください。

リモコンユニットのキーパッドは開閉カバーの上部と内部に分かれています。赤外線信号の送信部の下にはトリガーボタンがあり、人差し指で簡単に押せるようになっています。

### 上部キーパッド

#### 赤外線信号の送信部

ここから赤外線信号を<3M> Wall Displayへ送ります。

#### LED

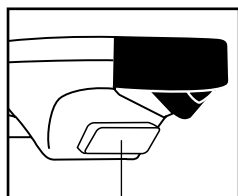
リモコンユニットから信号を送信中であることを知らせます。

#### POWER

<3M> Wall DisplayをON/OFFします。

#### MUTE

スピーカーをON/OFFします。



#### トリガーボタン

マウスの左クリックの機能を実行します。

### ディスクパッド

マウスのコントロール、メニューシステムでの操作、ポインタモードとスクリーン表示機能のコントロールに使用します。

#### R MOUSE

マウスの右クリックの機能を実行します。

#### MENU

オンスクリーンメニューを開きます。

#### BLANK

スクリーン消去機能をON/OFFします。

#### INPUT

入力のソースを切り替えます。

### 内部キーパッド

#### VOLUME

スピーカーと音声出力のレベルを調整します。

#### TIMER

秒読みタイマーの表示と非表示を切り替えます。

#### POINTER

ポインタモードをON/OFFします。

#### FREEZE

静止画モードをON/OFFします。

#### REVEAL

スクリーンの隠れている部分を上から下、または左から右に向かって見えるようにします。

## 上部キーパッド

### POWER

<3M> Wall Displayの電源をON/OFFします。電源がONになると、本体の投影アームが自動的に出てきてランプが発光します。

### MUTE

音声を一時的にOFFにします。もう一度押すか、内部キーパッドの<VOLUME +>ボタンまたは<VOLUME ->ボタンを押すと、音声が復帰します。

### ディスクパッド

- マウスモードのときにコンピュータのマウスを動かします。
- オンスクリーンメニューで項目を選択、数値を設定します。
- ポインタモードのときにポインタを動かします。
- スクリーン表示機能の方向を設定します。

オンスクリーンメニューの使用またはポインタモードでは、マウスモードが一時的にOFFになります。マウスモードに戻すには、オンスクリーンメニューまたはポインタモードをOFFにしてください。

注意：マウスモードを使用するには、<3M> Wall DisplayとコンピュータをUSBまたはシリアルマウスケーブルで接続してください。

### R MOUSE

マウスモードのときにマウスの右ボタンと同じ働きをします。

### MENU

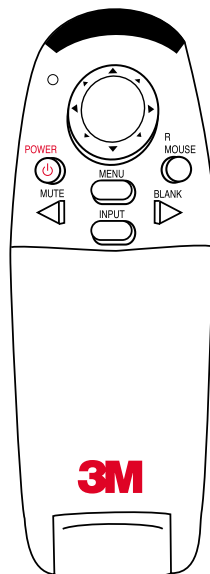
オンスクリーンメニューを開きます。もう一度押すと、オンスクリーンメニューが閉じます。

### BLANK

スクリーンを空白にします。もう一度押すと、通常の表示に戻ります。

### INPUT

入力のソースをコンピュータ DVI コンポジットビデオ (RCAジャック) S-Videoの順に切り替えます。



## 内部キーパッド

### POINTER

ポインタモードをON/OFFします。ポインタモードの間はスクリーンに緑の丸が表示されます。この丸は、ディスクパッドの矢印を押して動かすことができます。

### VOLUME

スピーカーの音量を上げるには<+>ボタン、下げるには<->ボタンを押します。<MUTE>でスピーカーがOFFになっている場合は、<+>ボタンまたは<->ボタンを押すとONになります。

### TIMER

秒読みタイマーの表示と非表示を切り替えます。タイマーを表示させると秒読みが始まります。タイマーの表示値は、[Tools]メニューの[On Scrn Timer]で変更することができます。

### FREEZE

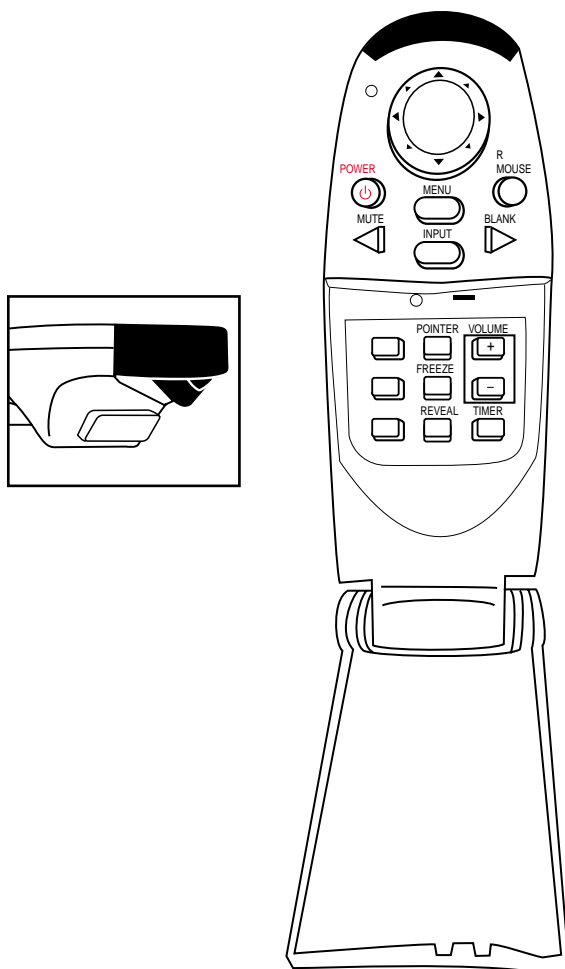
動画を静止画にすることができます。もう一度押すと、静止画モードがOFFになります。

### REVEAL

スクリーン表示機能をON/OFFします。スクリーン表示機能の方向はディスクパッドの矢印で選択します。例えば、スクリーンの隠れている部分を上から下に向かって見えるようにするには、下向きの矢印を押します。

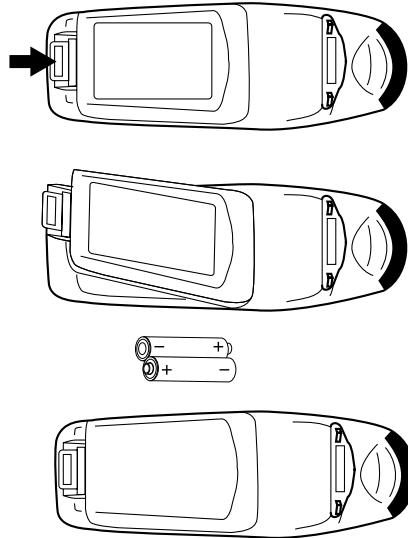
### トリガーボタン

トリガーボタンは赤外線信号の送信部の下にあり、ここからマウスの左クリックの機能を実行することができます。



## 電池の取り付けと交換

1. 電池ケースのカバーを下図の方向に押し持ち上げます。
2. 単4電池2本をケース内に図示された通りに挿入します。
3. 電池ケースのカバーを閉じます。



注意：高温多湿を避けてください。新しい電池と古い電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

## デジタルマーカーとイレーサー

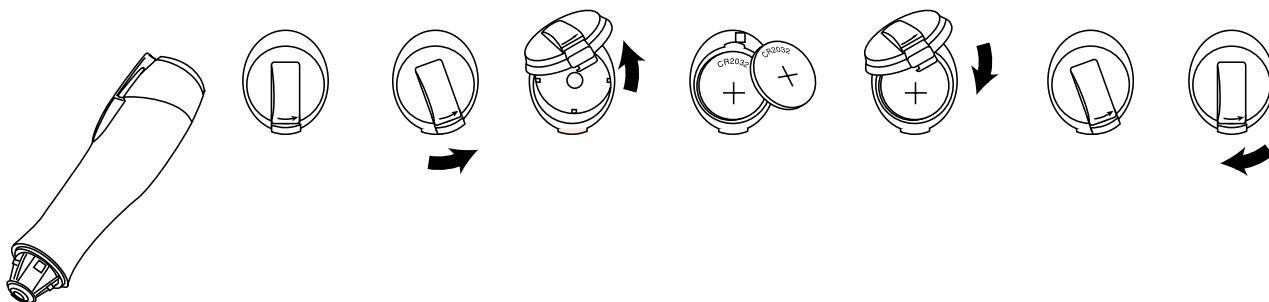
8200IW/IC に付属

## デジタルマーカーの組み立て

<3M> Wall Displayは、マーカースリーブの発信器から送信される信号によってドライイレースマーカーの動きを感知します。

デジタルマーカーを組み立てるには...

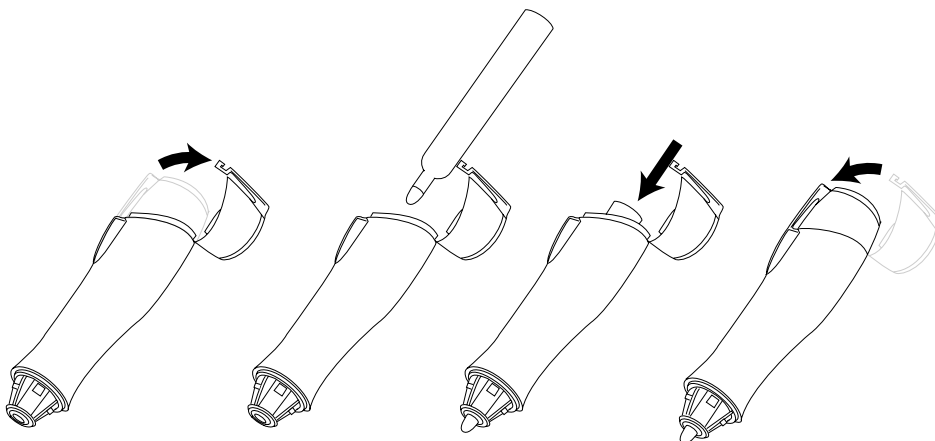
1. マーカースリーブ末端部のふたを反時計方向に回して外します。2枚の電池（CR2032）を「+」側を上向きにして挿入します。ふたを時計方向に回して締めます。
2. マーカースリーブのクリップの下にある突起状のボタンを押してマーカーケースを開きます。



## 警告

この電池にはリチウムが含まれます。電池の処分は各地域の環境保護条例に従って行なってください。

3. ドライイレースマーカーのキャップを外します。マーカーの色がマーカースリーブのカラーリングと合っていることを確認します。マーカーをスリーブに挿入してマーカーケースを閉じます。



注意：eBeamソフトウェアは、マーカー自体でなくマーカースリーブの色を認識します。マーカーを<3M> Wall Displayのスクリーンに押し付けると、スリーブの色の書き込み信号が送信されるようになっています。

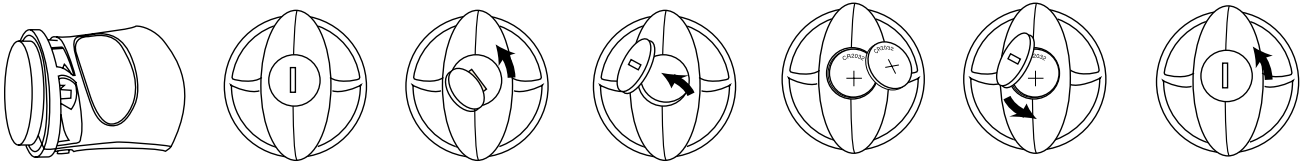
4. マーカーの先端が乾かないように、マーカースリーブにキャップをはめます。こうすることで、信号が誤って送信されることもなくなります。
5. 他のマーカースリーブについても上記の1～4を繰り返します。

注意：マーカースリーブの発信器は先端部分にあります。書き込みをするときには、信号をさえぎることのないように、スリーブの筒の部分を持ってください。

## デジタルイレーサーの組み立て

デジタルイレーサーもデジタルマーカーと同様に信号を送信しますが、こちらはマーカーでの書き込みを消す働きをします。フェルト部分を<3M> Wall Displayのスクリーンに押し付けると、消去信号が送信されます。

デジタルイレーサーのふたの溝にコインを差し込んで反時計方向に回し、ふたを外します。2枚の電池（CR2032）を「+」側を上向きにして挿入します。ふたを時計方向に回して締めます。



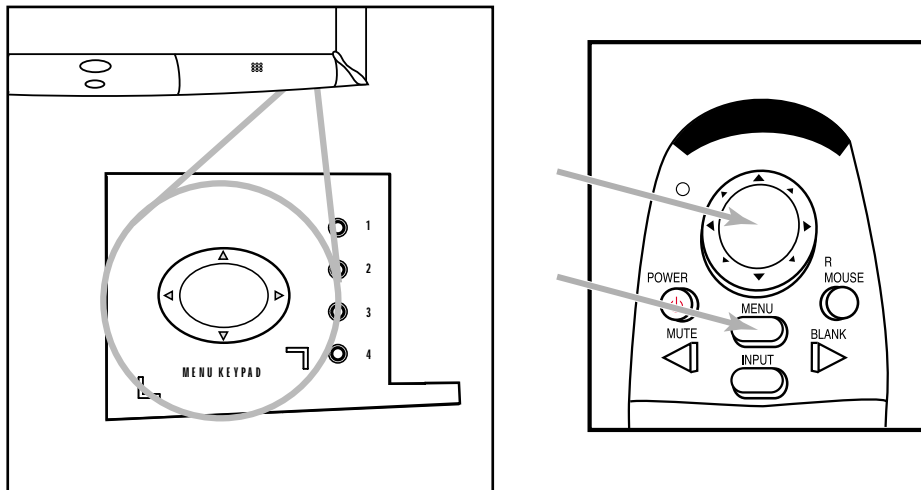
**警告**

この電池にはリチウムが含まれます。電池の処分は各地域の環境保護条例に従って行ってください。

## メニューシステム

### メニューの表示

画質や音量の調整はメインメニューとサブメニューから行ないます。メニューを開いて種々の調整を行なうには、本体の<MENU KEYPAD>ボタン、またはリモコンの<MENU>ボタンとディスクパッドを使用します。

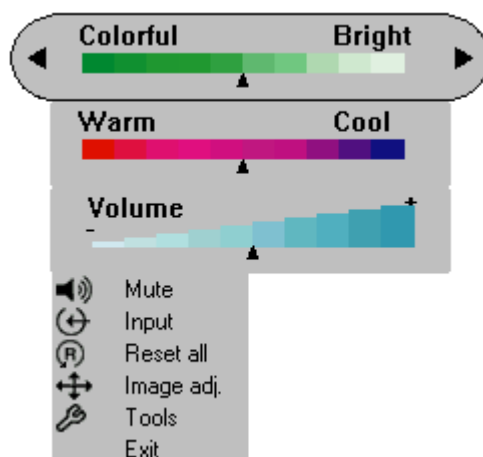


### [Colorful - Bright]スライダ

これは、色の鮮やかさと明るさを同時に調整するスライダです。[Colorful]側に寄せると色の鮮やかさが増し、[Bright]側に寄せると色の明るさが増します。

[Colorful - Bright]スライダを調整するには...

1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Colorful - Bright]スライダを選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の左右の矢印を押してスライダを動かします。
4. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。

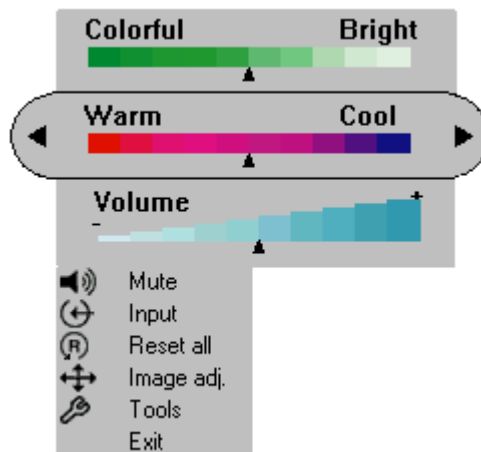


## [Warm - Cool]スライダ

これは、画像を暖色系または寒色系にするスライダです。[Warm]側に寄せると暖色系になり、[Cool]側に寄せると寒系になります。

[Warm - Cool]スライダを調整するには...

1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Warm - Cool]スライダを選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の左右の矢印を押してスライダを動かします。
4. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。

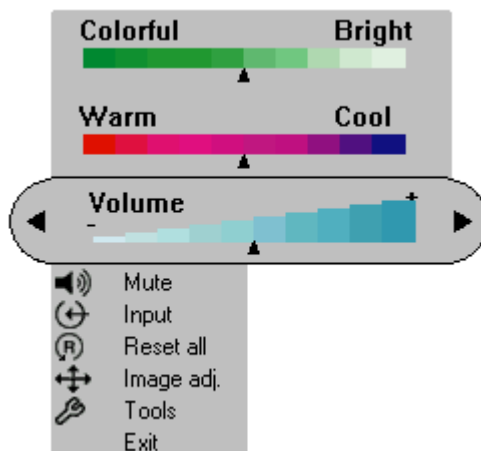


## [Volume]スライダ

これは、スピーカーと音声の出力レベルを調整するスライダです。[+]側に寄せると音量が上がり、[-]側に寄せると音量が下がります。

[Volume]スライダを調整するには...

1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Volume]スライダを選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の左右の矢印を押してスライダを動かします。
4. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。

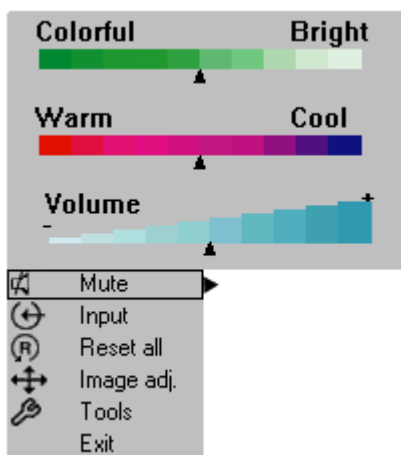


## [Mute]メニュー

これは、音声のON/OFFを切り替えるメニューです。

音声をOFFにするには...

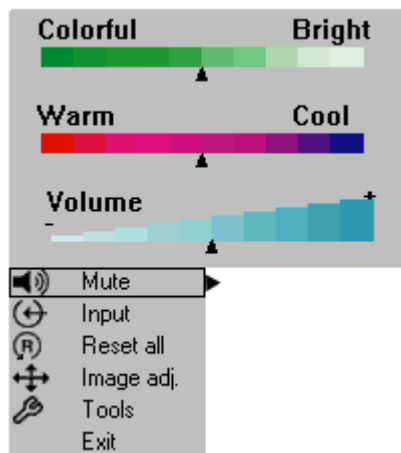
1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Mute]を選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の左右の矢印を押して[Mute]をONにします。これで音声はOFFになります。
4. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。



[Mute]がONの状態

音声をONにするには...

1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Mute]を選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の左右の矢印を押して[Mute]をOFFにします。これで音声はONになります。
4. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。



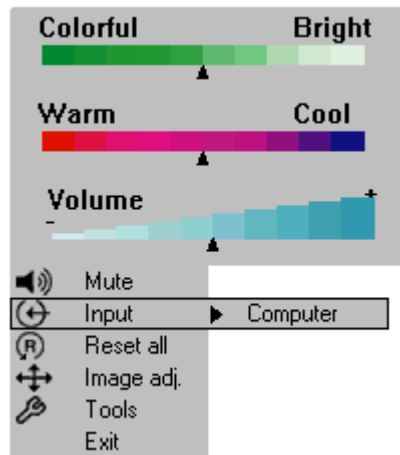
[Mute]がOFFの状態

## [Input]メニュー

これは、ビデオソースを表示・選択するメニューです。オプションとして[Computer] (VGA入力) [DVI-D] [S-Video] [Comp. Video] (RCAビデオ入力) [No Signal]があります。各オプションとも、正常に作動しているビデオソースが<3M> Wall Displayに接続されているときに選択可能になります。

ビデオソースを選択するには...

1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Input]を選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の右の矢印を何度か押して目的のオプションを表示させます。
4. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の左の矢印を押してそのオプションをONにします。
5. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。

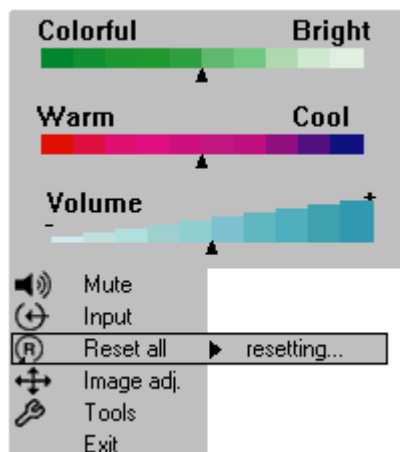


## [Reset all]メニュー

これは、メニューの全設定をデフォルトに戻すメニューです。

メニューの設定をデフォルトに戻すには...

1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Reset all]を選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Reset all]をONにします。
4. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。



## [Image adj.]メニュー

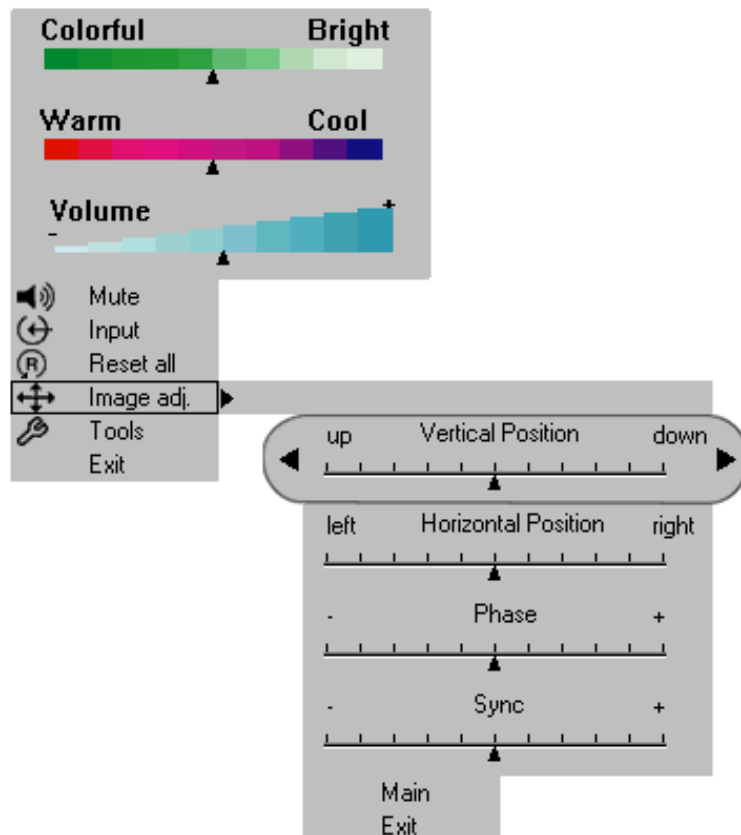
これは、VGAおよびDVI-D入力の投影画像を調整するメニューです。画像の一部が見えない場合は、[Vertical Position]スライダと[Horizontal Position]スライダで画像の位置を調整します。画像のノイズや縞模様を抑えるには、[Phase]スライダと[Sync]スライダを使用します。

Vertical Position	投影画像の垂直位置を調整します。
Horizontal Position	投影画像の水平位置を調整します。
Phase	ピクセルのサンプリングを調整します。画像のノイズやちらつきを抑えたいときに使用します。
Sync	走査線1本当たりのピクセル数を調整します。縞模様を抑えたいときに使用します。
Main	メインメニューに戻ります。
Exit	このメニューを閉じます。

[Image adj.]のサブメニューを開くには ...

1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Image adj.]を選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Image adj.]のサブメニューを開きます。
4. 目的のスライダまでスクロールしてスライダを調整します。
5. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。

メインメニューに戻るには、[Main]を選択してディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の左右の矢印を押します。



## [Tools]メニュー

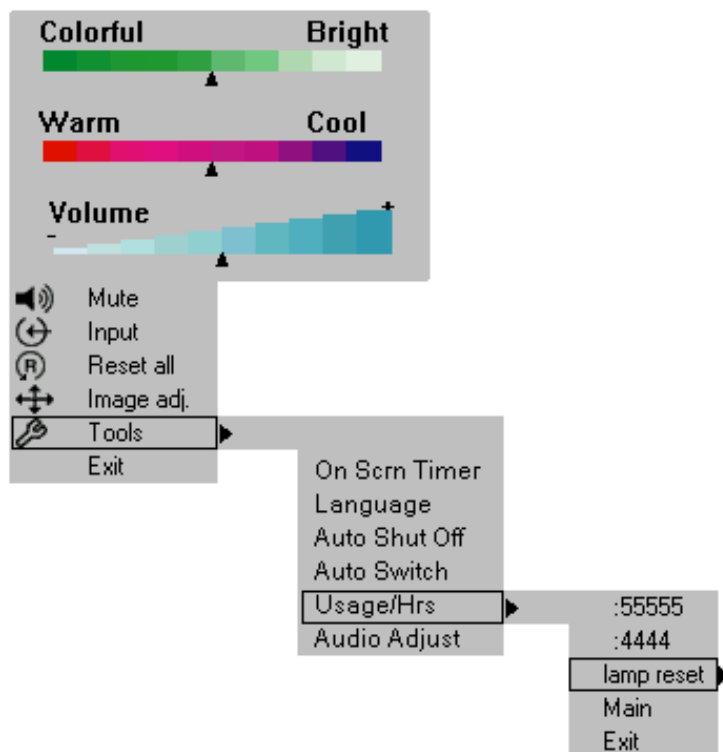
このメニューには以下のオプションがあります。

Onscreen Timer	タイマーのセットおよび画面表示が行なえます。
Language	オンスクリーンコマンドの言語を選択することができます。デフォルトの言語は英語になっており、以下ドイツ語 ス페인語 イタリア語 フランス語の順に切り替わります。
Auto Shutoff	指定した時間の後に本機の電源を自動的にOFFにします。デフォルトは0分になっています。
Auto Switch	入力ソースの接続が切れたとき、自動的に次の入力ソースを検索してそちらに切り替えます。このオプションを使用しない場合は、リモコンの<INPUT>ボタンで次の入力ソースを選択します。
Usage/Hrs	本体とランプの使用時間を表示させ、リセットすることができます。
Audio Adjust	低音と高音を調整することができます。

[Tools]のサブメニューを開くには...

1. リモコンの<MENU>ボタンを押すか、または本体の<MENU KEYPAD>の矢印をどれか押してメニューシステムを開きます。
2. リモコンのディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の上下の矢印を押して[Tools]を選択します。
3. ディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Tools]のサブメニューを開きます。
4. 目的のオプションまでスクロールして設定を行ないます。
5. メニューシステムを閉じるには、<MENU>ボタンを押すか、<MENU KEYPAD>の右の矢印を押して[Exit]を選択します。

メインメニューに戻るには、[Main]を選択してディスクパッドまたは<MENU KEYPAD>の左右の矢印を押します。



## <3M> Wall Displayの3つのモード

### 電子黒板モード (8200ICのみ)

このモードでは、本機にスクリーン上のデータを読み込み、本機に直結したプリンタから出力することができます。コンピュータとプロジェクタは使用しません。

注意：付録に記載のPCL3プリンタのみ対応です。

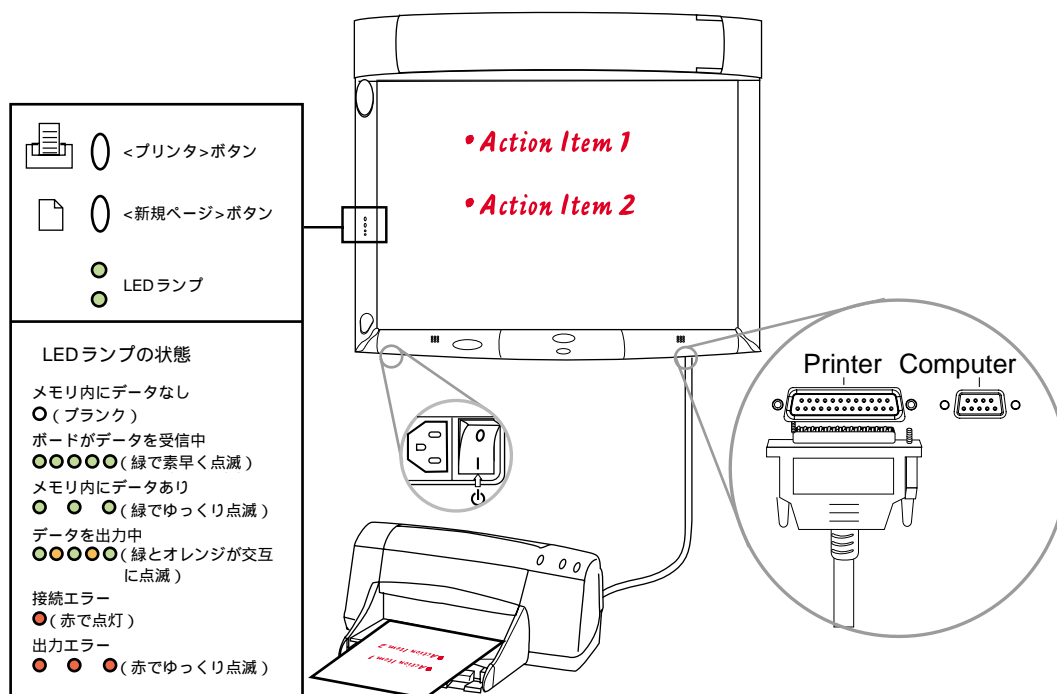
### ホワイトボードモード (8200IW/ICのみ)

このモードでは、本機を電子ホワイトボードとして使用することができます。会議内容をPCに保存、ネットワークプリンタ(直結プリンタを除く)へ出力、ネットワーク上で共有することが可能です。プロジェクタからの投影とスクリーンへの書き込みが重複するため、このモードではプロジェクタを使用しません。本体の<プリンタ>ボタンを押すとスクリーン上のデータがプリンタへ出力され、<新規ページ>ボタンを押すと新規のページが作成されます。

### 投影モード (8200IW/ICのみ)

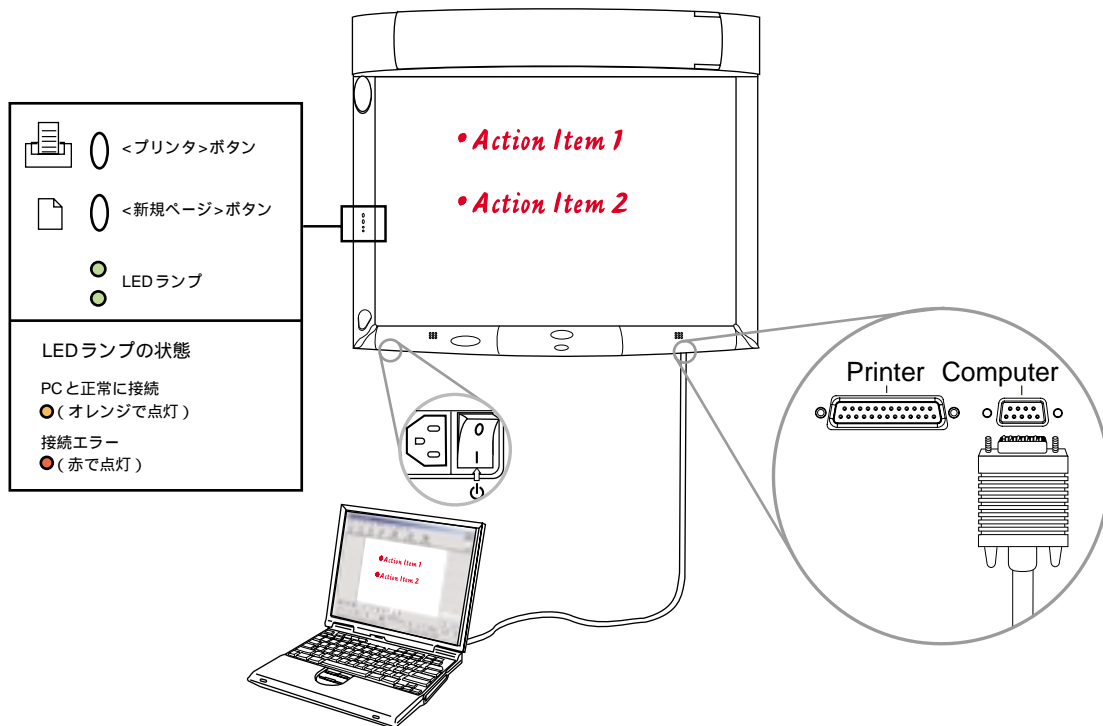
このモードでは、本機のスクリーンにコンピュータのデスクトップを投影し、本機をタッチスクリーンのような感覚で使用することができます。ドライイレースマーカーは使用せず、その代わりにデジタルマウススタイラスを使用します。デジタルマウススタイラスは、PCのマウスと同様に機能します(右クリックにも対応)。本体の<プリンタ>ボタンと<新規ページ>ボタンは機能しません。

### 電子黒板モードで利用する



1. 本機がコンセントに接続されており主電源スイッチがONになっていることを確認します。ON/OFFボタンはOFFでもかまいません。
2. デジタルマーカーでボードに書き込みをします。
3. <プリンタ>ボタンを押して書き込んだものを出力します。
4. <新規ページ>ボタンを押してページの中身をクリアします。これでバッファ内のデータも消去されます。

## ホワイトボードモードで利用する



1. 各ケーブルを接続してマーカーをスリーブに挿入します。
2. コンピュータのデスクトップで[eBeam Software]アイコンをダブルクリックしてプログラムを起動します。
3. 本体の<プリンタ>ボタンは、コンピュータのデフォルトプリンタへアクティブページを1部出力します。  
注意：ボードの内容を消去する前に[新ページ]で保存してください。
4. <新規ページ>ボタンは、現在のページをクリアしてコンピュータの画面上に新規のブランクページを表示します。

## eBeam ソフトウェアのインストール

### 最低限必要なシステム

eBeamソフトウェアを利用するには、以下のシステム構成が必要です。

#### PC

- Pentium® 100 MHz以上のプロセッサを搭載したWindows® PC
- Windows 98、2000、ME、XP、Windows NT 4.0 (他のO/SではインターネットブラウザからJava™ アプレットでネット上で開催中の会議の閲覧が可能)
- ハードディスク空き容量10 MB
- 256色VGA/SVGA モニタ
- CD-ROMドライブまたはインターネット接続 (ソフトウェアのインストール用)
- シリアルポートまたはUSBポート (USBシリアルアダプタが必要)

#### Macintosh

Macintosh版eBeamソフトウェアには下記のシステム構成が必要です。

- Power Macintosh
- Mac OS 9.x (Macintosh Runtime for Java™ 2.2以上と64 MB RAMが必要) またはMac OS X 10.1以上
- ハードディスク空き容量10 MB
- USBポート (USBシリアルアダプタが必要)

## ソフトウェアのインストール

eBeamソフトウェアのインストールは下記の手順で行ないます。

### PCでのインストール手順

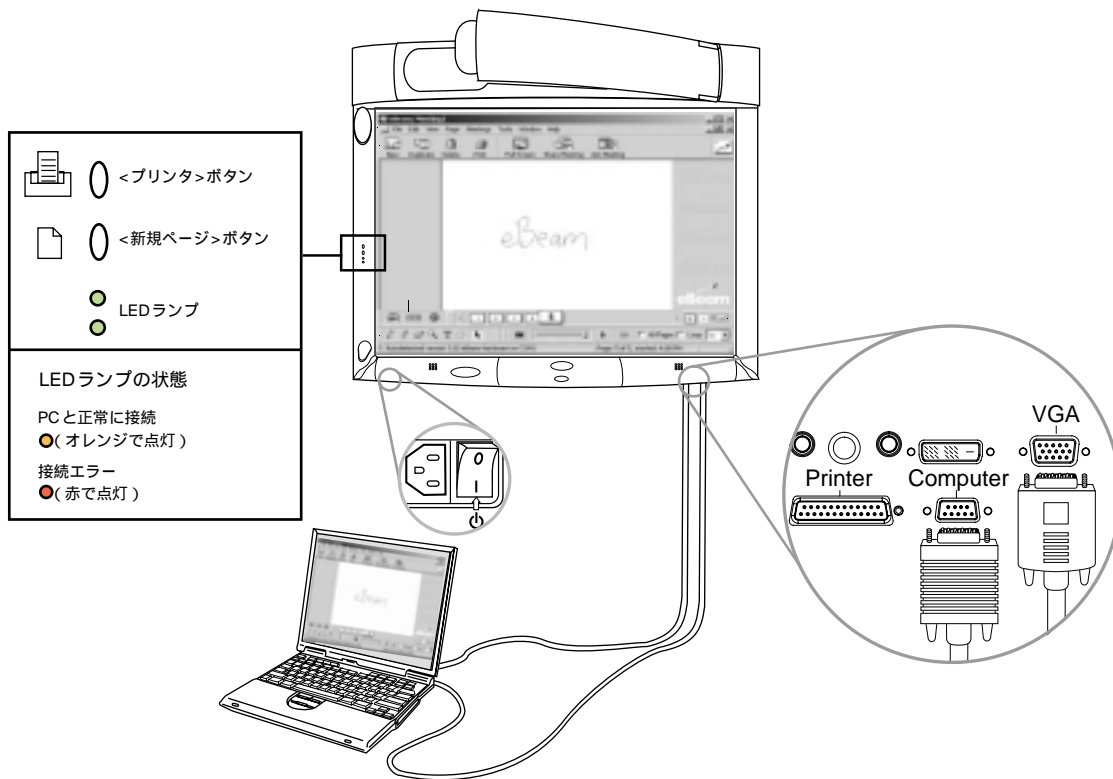
1. 「3M Digital WallDisplay Software and Documentation」のCDをPCのCD-ROMドライブに挿入します。
2. CDから自動的にメニューが開きます。
3. <Install Software>ボタンをクリックして[Install Software]メニューを開きます。
4. <Install eBeam>ボタンをクリックしてインストーラを起動します。
5. インストーラの指示に従ってインストールを進めてください。

### Macintosh™でのインストール手順

1. 「3M Digital WallDisplay Software and Documentation」のCDをMacintoshのCD-ROMドライブに挿入します。
2. デスクトップ上のCDアイコンをダブルクリックして開きます。
3. Softwareフォルダを開きます。
4. お使いのMac OSのバージョンに対応するフォルダを開きます。
5. [eBeam Software]アイコンをクリックしてインストーラを起動します。
6. インストーラの指示に従ってインストールを進めてください。



## 投影モードで利用する



1. 本機の電源をONにしてスクリーンに画像が現われるまで待ちます。
2. デジタルマウススタイラスをデジタルマーカースリーブに挿入します。ドライイレースマーカーは使用しません。
3. eBeamのシステムトレイで[プロジェクト使用]を選択します。
4. eBeamのシステムトレイで[投影エリア調整]を選択します。
5. 調整ウィザードの指示に従ってください。

eBeamソフトウェアの詳細については、『eBeam Software for 3M Whiteboard Display Operator 's Guide』(日本語版)を参照してください。

## メンテナンス

---

### 日常のお手入れ

<3M> Wall Displayのスクリーンや外装の汚れを落とすには、水で湿らせた布やドライタイプのクリーニングクロス（Scotch-Brite™ 高機能クロス）を使用してください。

スクリーンがマーキングペンの消し跡等で汚れた場合には、オフィスクリナーOC-100Mなどを使用することができます。なお、本機のどの部分にもスプレーや液体系のクリーナーは使用しないでください。



### ランプの交換時期

本機のランプの平均寿命は1000時間ほどです。ランプを900時間以上使用すると、本機の立ち上げ後の3分間、下記のメッセージがスクリーンに表示されます。その場合は、本機の電源をOFFにしてランプを新品と交換してください。古いランプを使用すると誤作動の原因になることがありますので、ご注意ください。

### ランプ関連のメッセージ

PLEASE CHANGE THE LAMP

ランプを900時間使用しましたので、交換してください。ランプの交換後は使用時間をリセットしてください。

THERE ARE 20 HOURS OF LAMP LIFE REMAINING

ランプを980時間使用しましたので、電源がOFFになります。ランプの交換後は使用時間をリセットしてください。

PLEASE CHANGE THE LAMP. THE WALLDISPLAY WILL SHUT OFF IN 10 MINUTES. AFTER REPLACING LAMP, RESET THE LAMP TIMER.

ランプを1000時間以上使用しましたので、10分後に自動的に電源がOFFになります。ランプの交換後は使用時間をリセットしてください。

どのメッセージもランプを交換するまで繰り返し3分程度表示されます。ランプ交換の手順は次ページを参照してください。

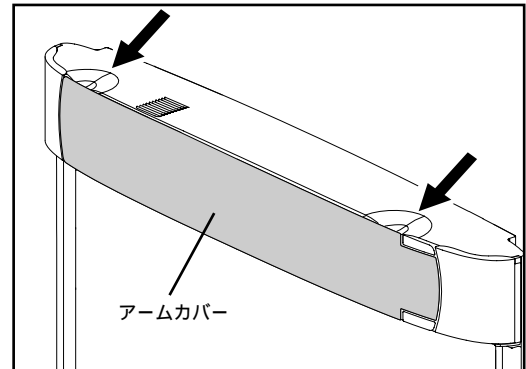
(2004年11月改訂)

## ランプの交換

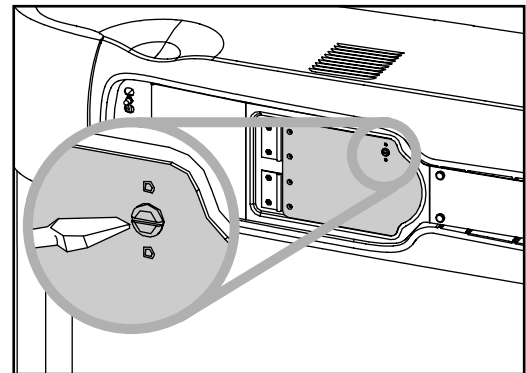
**危険**

感電防止のため、ランプの交換は本機の電源をOFFにして、電源コードを抜いた状態で行なってください。

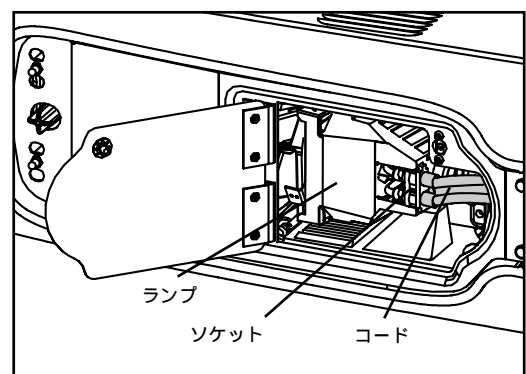
1. 本機の電源をOFFにして電源コードをコンセントから抜きます。
2. 必要に応じて、ランプの熱が冷めるまで45分ほどお待ちください。
3. アームカバー両端の向こう側にくぼみがありますので、その部分でアームカバーを持って取り外します。



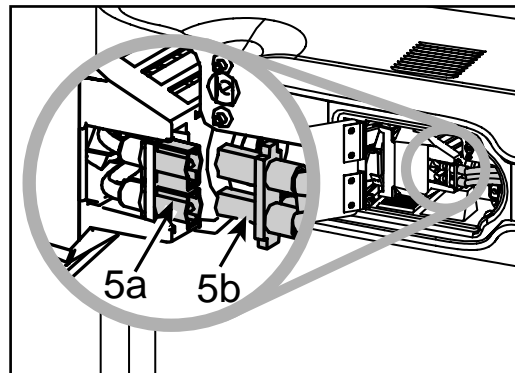
4. 通常のドライバーでランプハウジングカバー右上のネジを緩めます。



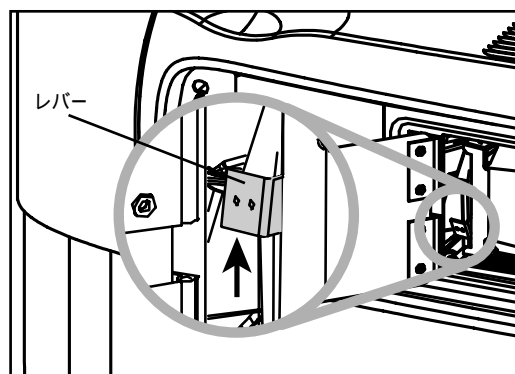
5. ランプカートリッジ右側の黒いソケットに黒いコード2本が接続されています。



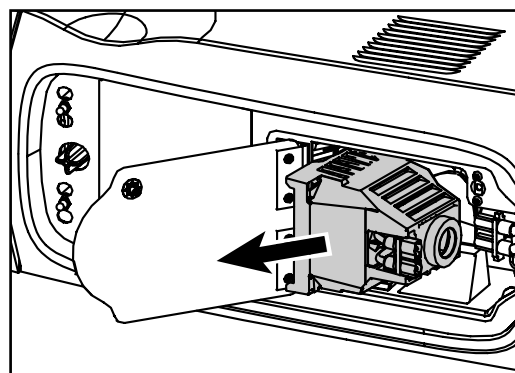
このソケット（図の5a）を左親指で押さえ、右手でコネクタ（図の5b）を引き抜きます。



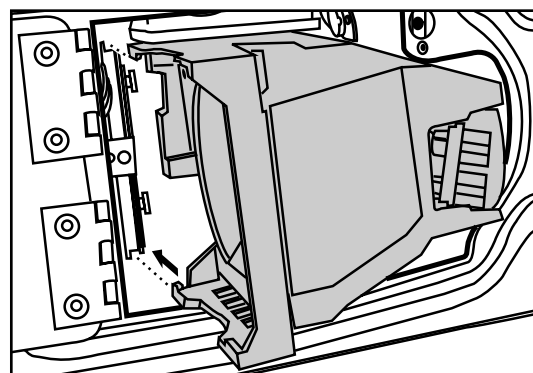
- ランプカートリッジ左側の金属製レバーを押し上げます。



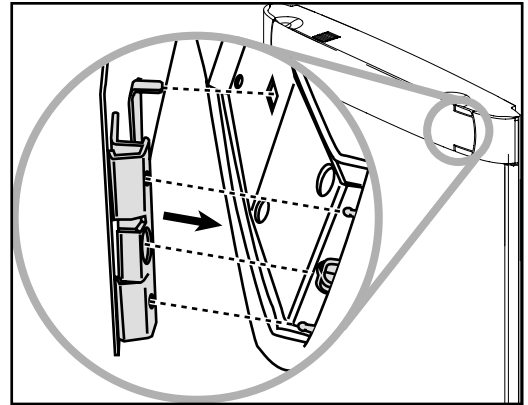
- ランプカートリッジを真っ直ぐに引き出します。



- 新しいランプカートリッジの左端を投影ヘッド内の溝に合わせて挿入します。

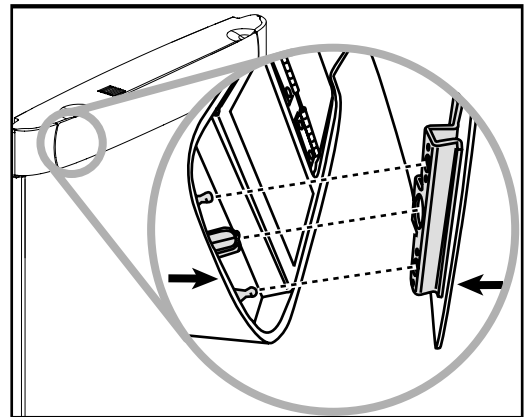


9. ランプカートリッジ左下の金属製レバーを押し下げます。
10. 黒いコード2本をソケットに接続します。
11. ランプハウジングカバーを閉じてネジを締めます。
12. アームカバーと投影アームの右端部分で突起と穴を揃えてはめ込みます。



13. アームカバーと投影ヘッドの左端部分で突起と穴を揃えてはめ込みます。

注意：アームカバーは「カチッ」というまで確実に差し込んでください。



ランプの交換後は使用時間をリセットしてください(次ページ参照)。



### 警告

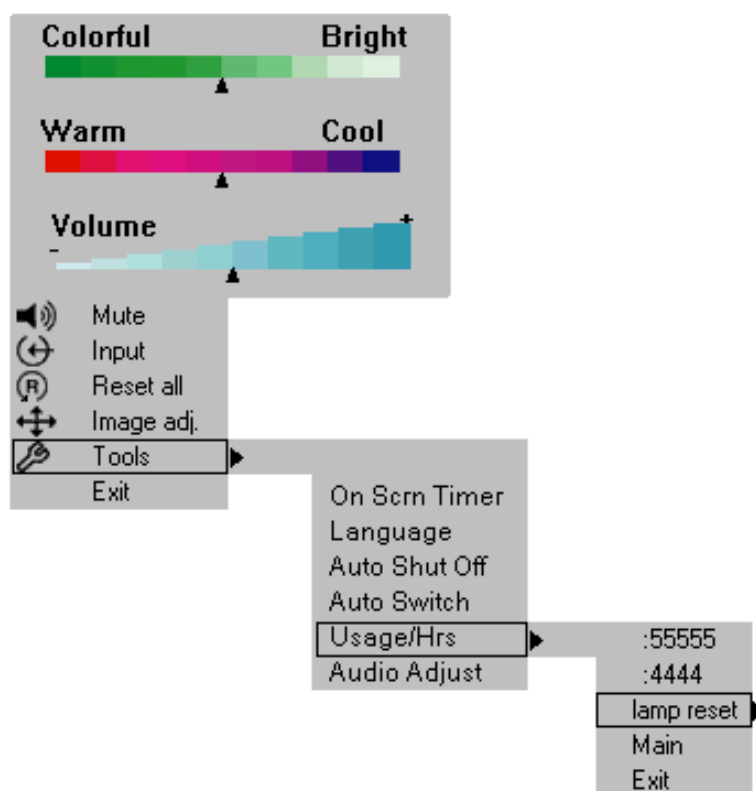
- レンズに触れて指を怪我したり、画質を低下させることがありますので、空の投影ヘッド内に手を入れないでください。
- ランプには水銀が含まれます。ランプの処分は各地域の環境保護条例に従って行ってください。
- ごくまれにランプが破裂することがあります。破裂したランプの交換は販売店等にお申し付けください。
- ランプは通常運転中に非常に高温になります。ランプを交換するのは、本機の電源OFF後45分以上経ってからにしてください。
- 上記の手順に記載のネジ以外は緩めないでください。

## ランプ使用時間のリセット

ランプを交換して本機の電源をONにしたら、10分以内にランプの使用時間をリセットしてください。

1. 本体の<MENU KEYPAD>を押すか、リモコンの<MENU>ボタンとディスクパッドを使用して[Tools]メニューまでスクロールします。
2. [Tools]のサブメニューの[Usage/Hrs]でランプの使用時間を表示させます。
3. 次のサブメニューで[Lamp Reset]を選択します。
4. [Exit]を選択します。

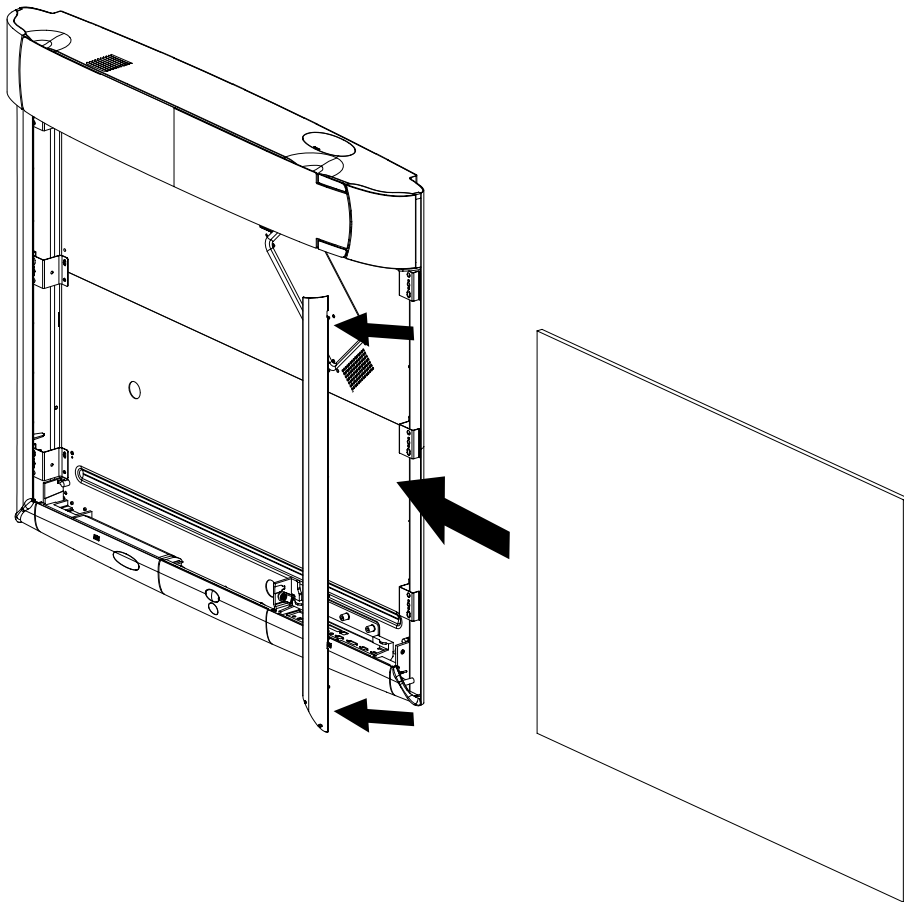
注意：ランプカートリッジを交換していない場合は、部品を破損することがありますので、ランプの使用時間をリセットしないでください。



## 投影スクリーンの交換

本機のスクリーンの交換はとても簡単です。

1. 本機の電源をOFFにして電源コードをコンセントから抜きます。
2. 左側ベゼルまたは右側ベゼルを取り外します。外れにくい場合は、ベゼルの上部にある切り欠き部分にドライバーを差し込んで取り外してください。
3. スクリーンを真っ直ぐに引き出します。スクリーンを引き出す側には1.2 mほどのスペースを空けておいてください。
4. 新しいスクリーンを挿入します。ベゼルを取り付ける前に、スクリーンが真ん中にあることを確認してください。ベゼルの内側にはピンがあり、スクリーンが片寄っていると、このピンで表面が傷つくことがあります。
5. ベゼルを下部から先にはめ込んで取り付けます。



## トラブルシューティング

### 一般的な問題と対処方法

問題	原因	対処方法
電源が入らない	電源コードが接続されていません。 主電源スイッチがONになっていません。 アームカバーが正しく装着されていません。	電源コードをACコンセントに接続してください。 主電源スイッチをONにしてください。 アームカバーを正しく取り付けてください。
画像も音声も出ない	適切な入力ソースが選択されていません。 入力ソースからのケーブルが接続されていません。 入力ソースがONになっていないか、画像を表示していません。ノートパソコンの場合、外付けモニタ用のポートがOFFになっていませんか？	リモコンの<INPUT>ボタンで適切な入力ソースを選択してください。 ケーブルを適切な入力ソースに接続してください。 入力ソースの電源をONにしてください。
ランプが発光しない	内部の温度が高すぎます。 ランプが交換時期に達したか、あるいはまったく使用不可能な状態になっています。	換気用の開口部を清掃してください。 ランプを交換してください。
投影アームが出てきた後に引っ込んでしまう	ランプが発光不能な状態です。	ランプを交換してください。
音声は聞こえるが画像が表示されない	VGA/ビデオケーブルが接続されていません。 VGA/ビデオ/オーディオケーブルが不適切な入力ソースに接続されています。	ケーブルを適切な入力ソースに接続してください。
画像は表示されるが音声がかたかた	VGA/ビデオケーブルが接続されていません。 オーディオケーブルが不適切な入力ソースに接続されています。 音量が最小に設定されています。 [Mute]がONになっています。	ケーブルを適切な入力ソースに接続してください。 音量を上げてください。 [Mute]をOFFにしてください。
画像が暗い	[Colorful - Bright]スライダが正しく調整されていません。 ランプの交換時期です。	[Colorful - Bright]スライダを正しく調整してください。 ランプを交換してください。

## 一般的な問題と対処方法（続き）

問題	原因	対処方法
目的とする入力ソースが認識されない	入力ソースが作動していません。入力ソースを選択するにはそこからの信号が必要です。 入力ソース（コンピュータやVHSプレーヤーなど）の電源がOFFになっています。	正常に作動している入力ソースを本機に接続してください。  入力ソースの電源をONにしてください。
リモコンが機能しない	リモコンが本体のセンサーに正対していません。 リモコンが本体のセンサーから離れすぎています。 リモコンとセンサーの間に障害物があります。 リモコンの電池が切れています。	リモコンを本体のセンサーに正対させてください。 リモコンはセンサーから5m以内で操作してください。 障害物を取り除いてください。  電池を交換してください。
メニューシステムが開かない	入力ソースが表示されていないと、メニューシステムも開きません。	正常に作動している入力ソースを本機に接続してください。

## オンスクリーンメッセージ

メッセージ	意味
「入力を検知されません」	入力ソースからの信号が本機に届いていません。ケーブルが正しく接続されているか、入力ソースの電源がONになっているか、入力ソースが正常に作動しているかどうかを確認してください。
「ランプを交換してください」	ランプを1,400～1,499時間使用しましたので、交換してください。
「ランプの残り寿命がXX時間になりました Wall Displayは40分後にシャットダウンされます」	ランプを1,500～1,579時間使用しましたので、40分後に電源がOFFになります。ランプを交換してください。
「ランプの残り寿命がXX時間になりました Wall Displayは5分後にシャットダウンされます」	ランプを1,580時間以上使用しましたので、5分後に電源がOFFになります。ランプを交換してください。

## eBeam ソフトウェア

eBeam システムについて確認されている制限事項、およびそれへの対処方法を以下にまとめました。なお、eBeam ソフトウェアはWindows 版を対象にしています。

### ハードウェアの検知と使用状況

メッセージ	eBeam	対処方法
「eBeamが見つかりません。接続ケーブルと電源を点検してください」 (アプリケーションの起動時または会議の進行中に表示)	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケーブル接続および電源に問題がないことを確認して&lt;キャンセル&gt;をクリックしてください。</li> <li>● P.9『ハードウェアが認識されない場合』を参照してください。</li> <li>● コンピュータに複数のeBeamソフトウェアがインストールされている可能性があります。他のコピーが開いておりポートを使用している場合は、そちらを終了してください。旧版のeBeamソフトウェアはアンインストールすることをお勧めします。</li> <li>● eBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションを終了して再起動してください。</li> <li>● イレーサーがパッドに乗っていないか確認してください。</li> <li>● シリアル/USBコネクタを使用している場合は、その取扱説明書の指示に従ってください。</li> </ul>
ステータスラインのメッセージ 「eBeamが自動検知されませんでした」または「XX上のeBeamハードウェアに接続できません」(X = ポート) (「eBeamが見つかりません」のダイアログで<キャンセル>をクリックしたときに表示)	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記の『eBeamが見つかりません』を参照してください。ケーブル接続および電源に問題がないことを確認してください(このメッセージは、アプリケーションの起動時または会議の進行中に表示されます)。</li> <li>● P.9『ハードウェアが認識されない場合』を参照してください。</li> </ul>
「eBeamハードウェアは投影モードで使用中です。このアプリケーションで使用しますか？」 (アプリケーションの起動時またはホワイトボードモードの選択時に表示)	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● このメッセージは、投影モードのときにeBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションを開こうとしたり、そちらへ切り替えようとしたときに表示されます。</li> </ul>

## ネットワーク接続と共有ミーティング

問題	eBeam	対処方法
「会議を共有するには、eBeamハードウェアの検知と接続が必要です」 ([ミーティングを開始]を選択したときに表示されるメッセージ)	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会議を主催するには、コンピュータをeBeamハードウェアに接続する必要があります。P. 23 『会議の主催/共有』を参照してください。</li> </ul>
EFI会議サーバ経由で会議を共有（会議に参加）できない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会議を共有する場合は、eBeamハードウェアを接続していることを確認してください。P. 23 『会議の主催/共有』を参照してください。</li> <li>● ネットワーク/インターネット接続がファイアウォールまたはプロキシサーバを経由する場合は、プロキシサーバの設定が必要です。P. 24 『プロキシサーバの設定』を参照してください。</li> </ul>
ケーブルモデムまたはDSLを使用すると、EFI会議サーバ経由で会議を共有（会議に参加）できない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会議を共有する場合は、eBeamハードウェアを接続していることを確認してください。P. 23 『会議の主催/共有』を参照してください。</li> <li>● ネットワーク/インターネット接続がファイアウォールまたはプロキシサーバを経由する場合は、プロキシサーバの設定が必要です。P. 24 『プロキシサーバの設定』を参照してください。</li> </ul> <p>ファイアウォール/プロキシサーバを経由しない場合もISPにファイアウォールの設定があり、この問題を起こすことがあります。下記のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● DNSがmeetings.e-beam.com、ポートが443の新規サーバを追加してください（P. 24 『会議サーバの追加』参照）。</li> <li>● この形態はバージョン2.1以降のみ対応です。新バージョンのソフトウェアは自動的にポート443経由で接続を試行しますが、サーバのマニュアル設定が必要になることがあります。</li> </ul>
[ミーティングに参加]ダイアログにシェアードミーティングの名前が表示されない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主催者が[ミーティングを開始]ダイアログで会議を共有するときには（P. 23 『会議の主催/共有』参照）会議の名前を公開するかどうかを選択することができます。公開すれば[ミーティングに参加]ダイアログに表示されます。公開しない場合は、他の参加者が会議名のボックスに手入力することが必要になります。</li> <li>● 会議の名前を公開するには、[ミーティングを開始]ダイアログの[ミーティング名を公開]チェックボックスを選択してください。</li> <li>● イン트라ネットにプロキシサーバ/ファイアウォールがある場合は、プロキシサーバを立ち上げてください。P. 24 『プロキシサーバの設定』を参照してください。</li> </ul>
プロキシサーバの設定方法がわからない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● P. 24 『プロキシサーバの設定』を参照してください。</li> </ul>

## データの書き込みと取得

問題	eBeam	対処方法
eBeamハードウェアは認識されているが、書き込み内容がeBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションのアクティブページに表示されない	ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルマーカーをホワイトボードに押し付けてください。この状態で微音が聞こえない場合は、電池を交換してください。</li> <li>● デジタルマーカーを交換してください。それで問題が解決した場合は、最初のデジタルマーカースリーブの電池を交換してください。</li> <li>● 信号が遮断されますので、デジタルマーカーの先端付近でスリーブを持たないようにしてください。</li> </ul>
	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● eBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションの[ツール] [eBeamハードウェア] [検知]でステータスラインの表示をチェックしてください。ハードウェアが認識されていない場合は、P. 10 『eBeamハードウェアのマニュアル検索』を参照してください。</li> </ul>
デジタルマーカーでのストロークが著しく欠落する	ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルマーカーをホワイトボードに押し付けてください。この状態で微音が聞こえない場合は、電池を交換してください。</li> <li>● 信号が遮断されますので、デジタルマーカーの先端付近でスリーブを持たないようにしてください。</li> <li>● デジタルマーカーで書き込みをするときにホワイトボードにしっかりと押し付けてください。マーカーは通常の筆圧で作動するようになっており、筆圧が弱すぎると信号を送信しないことがあります。</li> </ul>
デジタルマーカーでのストロークがeBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションに違う色で表示される	ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい色のデジタルマーカースリーブを使用してください。スリーブの色はマーカー先端付近のカラーリングでわかります。</li> </ul>
	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [ホルダ設定]ダイアログでスリーブの色の設定を確認してください (P. 17 『マーカーの表示色と線幅の設定』参照)。デジタルマーカーのどれかに違う色を設定しているかもしれません。</li> </ul>
ホワイトボード下部でのストロークがeBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションに表示されない	ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルマーカーをホワイトボードに押し付けてください。この状態で微音が聞こえない場合は、電池を交換してください。</li> <li>● 信号が遮断されますので、デジタルマーカーの先端付近でスリーブを持たないようにしてください。</li> <li>● デジタルマーカーで書き込みをするときにホワイトボードにしっかりと押し付けてください。マーカーは通常の筆圧で作動するようになっており、筆圧が弱すぎると信号を送信しないことがあります。</li> </ul>

## データの書き込みと取得（続き）

問題	eBeam	対処方法
ホワイトボード下部でのストロークがeBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションに表示されない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"><li>● ホワイトボード上の調整されたイメージエリア内で書き込みを行なってください。</li></ul>
デジタルイレーサーで消去ができない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"><li>● デジタルイレーサーをホワイトボードに押し付けてください。この状態で微音が聞こえない場合は、電池を交換してください。</li><li>● eBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションの[ツール] [eBeamハードウェア] [検知]でステータスラインの表示をチェックしてください。</li></ul>

## EFIミーティングアプレット

問題	eBeam	対処方法
アプレットが読み込まれない	ソフトウェア	<p>Microsoft® Internet Explorer®</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [ツール] [インターネットオプション]を選択します。[セキュリティ]タブで[制限付きサイト]を選択します。&lt;レベルのカスタマイズ&gt;ボタンをクリックしてリストを[スクリプト]までスクロールし、[Javaアプレットのスクリプト]で[無効にする]の選択を解除します。この状態でアプレットを開いてみてください。</li> <li>● [ツール] [インターネットオプション]を選択して&lt;ファイルの削除&gt;ボタンをクリックします。この状態でアプレットを開いてみてください。</li> </ul> <p>Netscape®</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [ファイル]([編集]) [設定] [詳細]を選択し、[Javaを有効にする]を選択します。この状態でアプレットを開いてみてください。</li> <li>● [ファイル]([編集]) [設定] [詳細] [キャッシュ]を選択します。&lt;メモリキャッシュをクリア&gt;ボタンと&lt;ディスクキャッシュをクリア&gt;ボタンをクリックします。この状態でアプレットを開いてみてください。</li> </ul>
iVISTAの使用中にアプレットが読み込まれない	ソフトウェア	<p>iVISTAとeBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションは両方ともデフォルトの通信ポートとして80を使用しますので、81などのポートで会議を主催できないか試してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [ミーティングを開始]ダイアログ(P. 23『会議の主催/共有』参照)で[このミーティング主催には主催者のPCを使用]を選択し、[ポート]ボックスに「81」を入力します。</li> <li>● 参加者は「http://meeting_name:81」を入力します。この「meeting_name」は[ミーティング名]ボックスで設定された会議の名前、「81」はポート番号です。</li> </ul>
[ミーティングに参加]ダイアログにシェアードミーティングの名前が表示されない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主催者が[ミーティングを開始]ダイアログで会議を共有するときには(P. 23『会議の主催/共有』参照) 会議の名前を公開するかどうかを選択することができます。公開すれば[ミーティングに参加]ダイアログに表示されます。公開しない場合は、他の参加者が会議名のボックスに手入力することが必要になります。</li> <li>● 会議の名前を公開するには、[ミーティングを開始]ダイアログの[ミーティング名を公開]チェックボックスを選択してください。</li> <li>● イン트라ネットにプロキシサーバ/ファイアウォールがある場合は、プロキシサーバを立ち上げてください。P. 24『プロキシサーバの設定』を参照してください。</li> </ul>

## 背景画像

問題	eBeam	対処方法
Microsoft® Excel®の スプレッドシートが正しく読み込まれない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"><li>● eBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションは、グラフを含むスプレッドシートが読み込めません。</li><li>● P. 20 『Microsoft® Excel®のスプレッドシートを背景画像として読み込む』を参照してください。</li></ul>
背景画像の品質がよくない	ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"><li>● アプレットのミーティングビューワへ送る背景画像は、ダウンロードを高速化するため高率で圧縮されます。背景画像を見やすくするには、eBeamソフトウェアのミーティングアプリケーションを使用したほうがよいでしょう。</li></ul>

## サービス情報

---

### パーツとアクセサリ

品目	型番
WD 7210スペアランプ	78-6969-9692-1
HA 100リモコンユニット	78-8121-0330-3
WD 7110ホワイトボードスクリーン	78-6969-9469-4

### オプションアクセサリ

WD 7200専用右トレイ	78-6969-9371-2
WD 7130専用左トレイ	78-6969-9472-8
WD 7120高輝度スクリーン	78-6969-9471-0

### お問い合わせとご注文

製品とサービスについてのお問い合わせは、住友スリーエム株式会社ビジュアルシステムズプロジェクト（0120-615-110）で承っております。

---

本書の内容は予告なしに変更されることがあります。

3Mは、第三者の権利に対する侵害、および本書に記載の情報から発生し得るその他の権利に対する侵害の責任を負いません。

本書を無許可で複製することは、その形態の如何を問わず、厳禁されています。

## 付録

### <3M> Wall Display仕様

表示サイズ	60インチ対角表示領域	
表示縦横比	4:3	
表示システム	シングルチップ、DLP™ Texas Instrumentsテクノロジー	
DLPチップ	チップ対角サイズ	0.7インチ
	ピクセル数	1024 × 768ピクセル
カラー	24ビットフルカラー	
コントラスト比	150:1	
ランプ	タイプ	SHP (超高压)
	寿命	1000時間
寸法	1208 mm (高さ) × 1350 mm (幅) × 179 mm (奥行)	
重量	39 kg	
ビデオ互換性	NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL-N、PAL-M、SECAM	
コンピュータビデオ互換性	VGAからSXGA	
マウスエミュレーション	PCシリアルマウス、ADB、USB	
入力/出力端子	コンピュータ入力信号	アナログRGB : 15ピンミニD-Sub
		デジタルRGB : DVI-D (デジタルのみ)
		オーディオ : 3.5 mmステレオミニジャック
	ビデオ入力信号	S-Video : ミニDIN 4ピン
	オーディオアウト	RCAジャック端子
	RS-232制御ポート	9ピンD-Sub
	マウスエミュレーションポート	9ピンD-Sub
オーディオシステム	アンプ (スピーカーへ)	20 W/チャンネル
	スピーカー	最大40W、8 Ω
電源条件	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz、最大400W	

(2004年11月改訂)

## 入出力信号仕様

コンピュータ	ビデオ信号	アナログ0.7 Vp-p、75 Ω 終端 ( + )
	水平同期信号	TTL レベル ( + / - )
	垂直同期信号	TTL レベル ( + / - )
	コンポジット同期信号	TTL レベル
	オーディオ入力信号	200m Vrms、20k Ω ( 最大3.0 Vp-p )
	オーディオ出力信号	0 ~ 200m Vrms、1k Ω
ビデオ	S-Video	輝度信号 : 1.0 Vp-p、75 Ω
		クロミナンス信号 : 0.286 Vp-p ( カラーバースト )、75 Ω
	ビデオ信号	1.0 Vp-p、75 Ω
	オーディオ入力信号	200 m Vrms、20k Ω

## コンピュータ互換性

解像度	垂直走査周波数	水平周波数
640 × 400	85 Hz	37.9 kHz
640 × 480	60 Hz	31.5 kHz
640 × 480	72 Hz	37.9 kHz
640 × 480	75 Hz	37.5 kHz
640 × 480	85 Hz	43.3 kHz
800 × 600	56 Hz	35.1 kHz
800 × 600	60 Hz	37.9 kHz
800 × 600	72 Hz	48.1 kHz
800 × 600	75 Hz	46.9 kHz
800 × 600	85 Hz	53.7 kHz
1024 × 768	60 Hz	48.4 kHz
1024 × 768	70 Hz	56.5 kHz
1024 × 768	75 Hz	60.0 kHz
1024 × 768	85 Hz	68.7 kHz
1280 × 1024	60 Hz	64.0 kHz

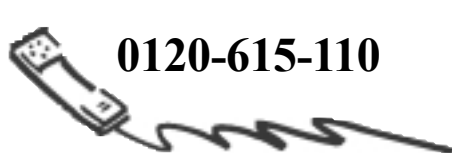
## プリンタ互換性

Apollo P-2200	HP LaserJet 1100
Fiery X2e	1120
HP Business Inkjet 2250TN	4050
HP Color LaserJet 4550	4500
HP DeskJet 340	4L
350	4M Plus
400	5000
420	5L
500	5si
540	6MP
600	8100
610	8150
630	IIID
648	HP OfficeJet590
648C	630
694	685
840	G55
842	G85
842C	K60
880	K80
895	R65
932	T45
932C	Pro 1175CSE
940	HP PhotoSmart 1215
950	1218
952C	P1000
960	P1100
970	HP PSC 500
970 Cse	日立 DDS 50/62
990	コニカ 7040
990 Cse	
1120	
1125	
1220	
1220C	



## 重要

3M社の製品に関する記載、技術情報、推奨事項等は、信頼に足るとされる情報に基づいていますが、その正確性あるいは完全性を保証するものではありません。お客様はご使用に先立ち本製品を評価し、お客様の用途への適合性をご判断ください。お客様の用途に関わる危険性および責任は、お客様が全面的に負うものとします。本製品に関する表明で3M社の最新の刊行物に記載されていないもの、あるいはお客様の注文書に記載されている、相反する表明は、3M社の権限ある役員が署名した契約書により合意する場合を除き、効力を有しません。



**0120-615-110**



**[http://www.mmm.co.jp/wall\\_display](http://www.mmm.co.jp/wall_display)  
e-mail: [visual@info.mmm.co.jp](mailto:visual@info.mmm.co.jp)**

住友スリーエム株式会社 ビジュアルシステムズプロジェクト部  
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1